

# リツめい

題字・末川 博名誉総長

Ritsumeikan University  
Alumni Association  
立命館大学校友会報

RITS  
立命館大学

No. **221**  
JULY 2005

社会人学生特集号

特集1

いつも、いつまでも 自分らしく学ぶ

特集2

立命館大学における社会人の学び  
— データで見る社会人学生 —

Brilliance  
輝くひと  
54

偉業達成 清々し!

ヤクルトスワローズ捕手  
古田 敦也さん('88経営)

[写真提供・共同通信社]



## 特集1

### いつも、いつまでも 自分らしく学ぶ ③

座談会「夢があるなら学ぶがよし」

田中照純 経営学部長・藤原茂昭さん

浜本広子さん・長森宏恭さん

奮闘！有職現役社会人院生

山添孝夫さん・西村仁さん

#### 輝くひと

古田敦也さん

#### RITSUMEI INTERVIEW

(財)名古屋観光コンベンション  
ビューロー 理事長

日高正行さん

#### 恩師の窓

辻村寛 名誉教授(理工学部)

奥地正 名誉教授(経済学部)

#### キーワードから見る現代

#### ニート

斎藤真緒 産業社会学部助教授



## 特集2

### 立命館大学における 社会人の学び ⑱

ーデータで見る社会人学生

校友会ネットワーク..... ⑭

All-Rits ..... ⑮  
立命館校友会大会2005のご案内  
幹事会報告

自由席..... ⑯

こんな会あります..... ⑰  
APU校友会  
交響楽団OB会

Rits One ときの人..... ⑰  
西川洋樹さん

立命館学園政策ニュース..... ⑳

キャンパストピックス..... ㉒

学生のスポーツ&イベント..... ㉔

INFORMATION..... ㉘



#### 偉業達成 清々し!



#### 表紙の人

ヤクルトスワローズ  
捕手

古田敦也さん('88経営)

この1年弱の間、古田選手の表情がテレビに大写しになる場面がことのほか多かった。闘志に引き締まった顔、苦悩する顔、

揺るぎなき決意を滲ませた顔、そして、偉業を成し遂げて光り輝く顔。私たち立命館校友は、その時々古田さんを見つめ、声援を送り、大いに励まされてきたのである。

昨年秋にはプロ野球界再編問題を見事解決に導いた。そして4月24日、大学・社会人野球を経てからプロ入りした選手としては史上初めて2000本安打を達成。私たちにとても歓喜の時であった。古田さん、おめでとう!!

在学当時の硬式野球部監督、中尾卓一さん('51経済)は振り返る。「古田は、とにかく負けず嫌い。どうしたら強くなれるのが考え抜き、着実に実践していました。仲間と明るく楽しむことも上手だった。加えて、人の話や状況から多くのものを吸収し、自分の肥やしにできる賢者であった。野球が好きで好きでたまらない純粋無垢な少年が、大人になっても純粋なまま野球に打ち込み、様々な局面で“やればできる”ことを実証しているのです。素晴らしいですよ。」

プロ入り後、自らにいつそう磨きをかけつつ、初心を失わなかった古田さん。変わることに、変わらないこと。それぞれが生み出す力の相乗効果が前人未達の成果を生んだ。あまたの応援に深い感謝を示しながら、「あくまでも節目、まだまだやります」と、古田さんは前を向き続ける。実際の試合では猛打を放った。どこまで記録を伸ばしてくれるのだろうか。

いまや立命館校友の象徴的存在。我々の胸を震わす快音を、そのバットでいつまでも響かせてほしい。

<https://www.yakult-swallows.co.jp/>

<http://blog.so-net.ne.jp/atsuya-furuta/>

(写真提供-表紙 共同通信社 [上] フィールドライフ / 文・寺田直子)



## 社会人学生特集

# いつも、いつまでも

I T S U M O I T S U M A D E M O J I B U N R A S H I K U M A N A B U

# 自分らしく学ぶ

特集 1

キャンパスを、「大人の学生たち」が闊歩しています。  
立命館において、社会人学生・院生は、もはや特別な存在ではありません。  
ずっと胸に抱いていた勉学の夢をかなえるために、  
あるいは、専門分野でのスキルアップをはかるために、  
それぞれに許された条件のもとで、  
社会人学生たちは、自らの学びの道を切り拓いています。  
なりたい自分が見えたとき、学びたいときが、学び時！





座談会

# 夢があるなら学ぶがよし

## 長年の夢をかなえる

田中 経営学部長の田中です。立命館に参りましてからちょうど三〇年です。教育とは、教える側、それを受ける側、両者が作り上げる芸術品のよくな気がしまして、その難しさを日々実感しながら過ごしております。そして社会人学生・院生の皆さんには大いに刺激を受けています。

長森 一九八七年経営学部卒、二〇〇三年国際関係研究科修了の長森です。学部卒業の年に松下電工に就職し、現在に至ります。

藤原 藤原です。五五歳で会社を早期定年退職してから入学しました。経営学部の四年間に続き、博士前期課程をこの春修了いたしました。

浜本 浜本でございます。川西市の生涯学習短期大学に通いましたのが縁で、経営学部に入りました。飛び級で大学院へ入れていただき、昨年、博士前期を修了しました。

藤原 入学の動機ですが、「立命館大学社会人学生募集」の広告を見た時、やり残したことはこれだ、ピンと来ました。私は退職前に一〇年ほど子会社へ出向し、支店長をしていたのですが、当時の部下から時々電話で相談がありまし

てね。しかし、ほとんどが大学卒である彼らに専門的なことを言われると、時に躊躇する場面もありました。大学で経営学を勉強すれば、より適切なアドバイスができるんじゃないか、この思いが大きかったですね。

浜本 子育てが一段落したので、まず先程申し上げた市民講座に通いはじめ、ほぼ並行してマナー講師の養成講座も受講しました。二年間かけて先生の資格をもらい、

大学生に秘書検定対策講座、インターンシップや就職面接のマナー指導をするようになりました。でも、ビジネス社会のことを知らない私が教えるのは失礼だと感じまして、もつときちんと勉強したいと思いました。そんな時、市民講座で「立命館大学への推薦制度があります」と聞き、これはチャンスだと。大学へ行きたいという夢を、かれこれ二五年間も持ち続けていましたので、チャレンジしました。

長森 私は経営学部生の頃から大学院への進学を考えていましたが、当時の風潮から企業に就職しました。長年の思いを叶えるべく、現職を続けながら進学しました。それまでには研究会への参加や文献の収集をして準備し、まず九九年

九月、大学院の科目等履修生になりました。時間的にはこれで精一杯。勤務地は大阪の門真、自宅は西宮です。そこでグローバル化における企業の日本の経営の研究を行おうと、国際関係研究科の門を叩きました。二〇〇一年になって、時は満ちた。二〇年近く企業に身を置いて社会を見て来たのだから、今なら誰にも負けない修士論文が書ける」と判断し、試験を受けて正式に入学しました。

## 学問に年齢なし

田中 在学中の毎日はいかがでしたか、苦労話もあると思いますが。

藤原 私は学業に専念しましたが、学部では一五〇単位以上も取りました。

浜本 気持ちの上では主婦業を廃業していました(笑)。家族の支えに感謝しています。学部時代は、週に四日、往復五時間をかけて川西市の自宅からBK Cへ通いました。健康管理も含めて相当努力しました。ゼミに入る代わりに語学をとと思いついて、毎日ドイツ語を取っていました。

長森 平日は当然仕事です。運が良ければ夜七時頃から始まる講義



**長森 宏恭**  
ながもり ひろやす

87年本学経営学部を卒業し、松下電工(株)に入社。現在広報部主事。99年9月から1年半、本学国際関係研究科にて科目等履修。01年、同研究科博士前期課程入学、03年修了。



**藤原 茂昭**  
ふじむら しげあき

滋賀県立信楽高等学校卒業後、ノザワセメント(株)・東洋陶器(現・東陶機器)(株)に勤務。98年、55歳で早期定年退職。03年本学経営学部卒業、05年同経営学研究科博士前期課程修了。現在、経営コンサルタント。

### 出席者

- 田中 照純 経営学部長
- 藤原 茂昭さん (03経営・05院経営博前)
- 浜本 広子さん (04院経営博前)
- 長森 宏恭さん (87経営・03院国関博前)



## 田中 照純

たなか てるよし

神戸大学経営学部卒業。三菱レイヨン(株)勤務を経て、同大学院経営学研究科にてドイツ経営学史を修める。75年本学へ着任。本年4月から経営学部長。専門は企業倫理学・経営学史。経営学博士(立命館大学)。



## 浜本 広子

はまもと ひろこ

四国学院短期大学卒業、大和銀行(株)勤務の後、結婚、家庭に入る。97年、トータルマナー(株)のマナー講師養成講座ならびに川西市生涯学習短期大学(市民講座)を受講。99年、本学経営学部入学、飛び級で博士前期課程に進み、04年修了。現在、ビジネスマナー講師。

に、週一回出られる程度でした。私より一回り以上も年上の方や、学部から上がった若い同級生がいて、たまには一緒に食事をしたこともありましたね。土曜日の講義は、朝から晩までフル稼働。休日には、ときに子供の学校行事に参加し、あるいは乳飲み子を膝に乗せながら、修士論文のための研究を進めました。

藤原 そうそう、コンパが楽しみでね(笑)。若い人たちと友達の輪が広がり、台湾からの留学生とも親しくなりました。楽しかったですよ。二回生の時には「経営学部社会人会」を立ち上げました。不安をお持ちの方も多かったのですが、社会人同士、助け合える仕組みを作ろうということ。これはもちろん勉強が主体ですけども、合間を縫ってコンパで交流をはかる機会も多く、非常に充実した学生生活を送らせてもらったと思っています。

田中 社会人にとっても、学生生活は教室の中だけにあってはならないですね。私のゼミに一人、古希を迎えた学生がいたのですが、去年の夏、小豆島へのゼミ旅行に、その彼が来てくれたんです。釣りが上手くて、他の学生に教えながら旅行の雰囲気をつくってくれて、嬉しかったですね。社会人学生の役割を再認識しました。

浜本 私は、初めは正直申しまして何か居心地が悪くて…。基礎演

習の教室へ行ったら、社会人は私だけだったんです。四年間は、四六〇日でしょう、「今日で、四六〇分の一が過ぎた、七三〇分の一が過ぎた」と思っていたんです。でも一ヶ月くらいしましたら、先生のおかげもありまして、壁が取り払われていきました。そうこうしているうちに藤原さんが社会人会をつくって下さって、とても有難かったです。

田中 なるほど、皆さんさすがです。私は「学問に年齢なし」と思っています。学びたくなった時が適齢期です。社会人には、世の中で貴重な経験を積んでいるという、一般学生にはない有利な点があります。経験から入り、その上で理論を膨らませて行きますよね。特に経営学では、これが大事な



共にドイツ語を学んだ仲間たちと浜本さん

長森 それでも相当の覚悟が必要なのは確かです。特に仕事と両立させることは難しい。ある人は一年目に単位がほとんど取れず、翌年は休学されて…。大学側もターミナル駅に直結したサテライト教室をもっと増やして、仕事を持つ社会人のニーズに対応して行くべきです。

## ハイレベルに挑む

藤原 そうそう、言われた。浜本 私たちにとっては、当たり前なんです。自分のためにしているのですから。

です。社会人には、一般学生・院生からは出てこないような研究成果が期待できるんです。経験があるので、理論が、砂地に水が染み込むようにスッと入って行くんです。また、理論形成の上でも経験は大切です。学問は理論と実践の統一ですから。

もう一つ、社会人の強みを言いたいのですが、それは、学問が手段ではなく、それ自身が目的になっていることですね。ふつうは、将来のために、どこか義務的に大学に来る面もあります。しかし社会人学生は全身全霊を勉強につき込んでいる、学が喜びに浸っていますから。





田中 学ぶ欲求を持っている人のところに我々が出て行く姿勢が、もっと必要なんです。

藤原 我々の仲間でもいるよね。家庭の事情とか、仕事の都合で、留年したり、休学したり。

浜本 そうですね。でも、皆さんいつかまた来たいとおっしゃっていました。

田中 意欲と同時に、自覚が必要なんです。両立は、生半可な気持ちではできない、それにチャレンジするんだという自覚が大切です。

藤原 同級生に中小企業のオーナーが多かったです。みんな授業の合間には、ものすごい勢いで携帯電話で仕事の連絡をとっていました。

田中 やり遂げられた皆さんは、入学してよかった、やる気があればできる、とおっしゃるが、その裏での苦労は大変なものでしょう。

藤原 それでもやっぱり、授業はいい。どうしても聞きたいんです。

田中 今度はちよっと、社会人学生の弱点も言わなくてはなりません。理論化の前提になる経験が豊富なのは良いけれども、理論化の道筋がつかみにくいようです。

ざ試験になり、答案を見る  
と、「あらら」と思うこと  
もあるの

です。学んだことを文章で表現するとなると、一定の困難が付きまとうのです。理論化する力を、早くつけてあげたいと思います。その辺で苦労されたことはないですか。

藤原 学部時代よりも、やっぱり大学院の課題研究、あれは悩みました。企業の組織構造、人事等についての研究でしたが、僕の考えと、先生の要求水準とのギャップが大きすぎて…。何度となく叱咤激励を頂いて、非常にありがたい話なんですけれどね。だから、もうギリギリまでかかりました。さすが大学院。ここは、こんな僕が勉強する場所なのか、と思った時が一時期ありましたよ。

田中 研究をする者にとっての、譲れない部分がありますよね。

浜本 学部の頃は、若い友人のレポートを助けてあげたりもできたのですが、院生になったら指示される側になってしまっ(笑)。

「これは大切な資料だから読んでおいて下さい」とか、「図書館で調べますから来て下さい」とか。そのついで、「はい、はい」って。大学院の授業について行くのは、私もとても大変でした。

長森 私は企業人であるが故に、人よりもかなり高いレベルの研究内容を要求されました。経営学部時代の恩師に相談すると、「この文献のこんなところを読んでください」と。改めて自分なりに調べ尽くし

## あるがよし 夢がよし

田中 照純



長森 宏恭



藤原 茂昭



浜本 広子



て初めて、先生からは「随分研究したね」と言ってもらえたものです。

### 新しい自分との出会い

藤原 六年間学んで自分がどう変わったかといえは、理屈っぽくいや、論理的になつたかな。古い仲間との交友関係は微妙に変化した部分もあるけれど、六二歳にもなったら、何をしようと勝手だから(笑)。会社関係の後輩にアドバイスすると、感謝されることが多くなり、嬉しい。経営上の悩みを抱えた知人にも、「僕でよかったら相談に乗るよ」と声をかけているんです。

田中 いいことですね。やっぱり、社会貢献をしてほしい。大学での経験を自分だけのものにせず、社会に向けて発信し、貢献し、活躍してほしいですね。

長森 私が立命館に何かお返しできるとすれば後輩の育成だろうと思います。ゲストスピーカーとしての思い、ゲストアドバイザーとしての講義や、キャリアアドバイザーとして進路指導などをさせて頂いています。指導した学生から「内定」と言う吉報が届くと、やはり嬉しいものです。

いものです。

浜本 主婦の生活だけをしていたら、自分の可能性に気が付かなかったと思います。今は、あんなことも、こんなことも、と、自分にできそうなことを探せて、それに向かつて気持ち動いているんです。今、ビジネススマナーについての修士論文を見直しながら、キャリアカウンセラーの資格取得を目標に講習を受けています。一方で、ドイツ語の勉強も引き続き進めています。

田中 私もね、社会人の皆さんを教えて、変わりました。教室で皆さんを見て、「なるほど、私よりはるかに質の高い人たちがな」と感じるがあります。それを緊張感に変えて、教育の中で活かしていくこと。皆さん、教室の一番前に陣取って、こちらを凝視していますからね。真剣勝負になります。本当に緊張感がある。

### 一緒に学ぼう

藤原 現役の社会人の方には、長森さんの経験が励みになるだろうし、第二の人生をどうするか考え

る方は、我々のようになさればよいですね。  
 長森 これから社会人学生・院生を目指す方にアドバイスするなら、「社会での経験から、それなりの実力をつけて、自分の得意分野で勝負せよ。なるべく多くの理解者、協力者を持って」と言うことです。私は時間がないと言っ弱味を、誰にも真似のできない「企業の現場からの考察」という強味に変えたわけです。そうでなくては学部から普通が上がった院生と何ら変わりませんから。  
 藤原 僕としては、単純に「学ぶ意欲があるなら挑戦しよう」、これだけです。時間的、金銭的なことは、後からでも何とかなる。やらなければ始まらない。  
 田中 今は、奨学金制度も充実していますから。  
 浜本 夢と目標をずっと持ち続けていると、実際にそれに近づくとができますし、周りから自然に情報も集まって来ますしね。  
 田中 人的ネットワークですね。極端に言えば、わざわざ大学へ来なくても、一人でも勉強はできますよ。しかし、大学・大学院の大きな意味の一つは、仲間と一緒に学べることにあるのだと思いますね。入り口はできるだけ広くしていますから、意欲と自覚と、基本的な学力をもって入ってきて頂ければよろしい。きっと人生が変わりますよ。

奮闘！有職現役社会人院生

言語教育情報研究科  
 言語情報コミュニケーションコース  
 2回生

山添 孝夫 さん  
 滋賀県立八幡商業高等学校 英語教諭



20年来の関心事に向き合う

昨今の英語教育現場には、情報技術を駆使した教授方法が浸透しつつある。山添さんの研究テーマは「コーパス言語学」。コーパスとは言語資料のデータベースのことであり、これを分析することで、「文脈の中で、どの語とどの語（もしくは、どんなカテゴリーの語）が一緒に使われやすいのか」等々の情報が得られる。これを意識するのとはしないのでは、教育効果に差が出てくるという。

山添さんは20年来コーパスへの関心を持ち続けてきた。「ネイティブスピーカーが私の知らない表現を使うたびに、彼らが話す英語のデータ化が不可欠だと感じていました。既に一度よその大学院を修了していますが、コーパスを学べるならば、もう一度頑張ろうと思っています」。言語教育情報研究科がある衣笠キャンパスへの通学は、近江八幡からでは困難なので、BKCへ出向いてテレビ会議の要領のサテライト授業を受ける。たった一人だが、一人を意識することはないそうだ。

学んだ知識を自分の授業に生かすとともに、勉学への思いや履修スケジュールを生徒たちに知らせて、放課後に不在であることへの理解を求めている。「社会人が学ぶチャンスが増えていることも話しています。キャンパスでかつての教え子に出会うと驚かれますが、私の姿から何かを感じてくれれば幸いです」。

「案ずるより産むは易し」という山添さん。「入ってしまえば学生同士で助け合うこともできます。一歩踏み出すことで見える道が、きっとあります」。

経営学研究科  
 プロフェッショナルコース  
 2回生

西村 仁 さん ('85理工)  
 (株)村田製作所 機器製作部勤務



視野を広げる楽しさ

エンジニアとして忙しく働きながら、経営学の世界を堪能しているのが西村さんである。入社以来20年間、電子部品の生産設備の開発に携わってきたが、専門分野の世界だけに身を置く状況からの突破口が欲しかったという。

新聞で知った経営学研究科主催の公開講座「経営戦略セミナー」に参加し、刺激を受けた。「これは面白い」と、思いもよらなかった大学院への道を迷わず進んだ。「アカデミア@大阪」での夜間の授業に、滋賀県野洲市の会社から週3日程度駆けつけている。財務、マーケティング、生産管理、人事組織論…。睡眠時間を削る毎日だが、2年間では短すぎると思うほど満足しているそうだ。

「授業はとにかくエキサイティング。講義内容はもちろん、発表や議論の仕方にも人それぞれの個性があり、そこからも多くを学べます。仕事に直結したスキルアップを目指している仲間が多いですが、私は、広い視野を持ちたいという願いが叶いつつあり、嬉しく思っています。40歳を過ぎ、今やらなければという気持ちが強まったの進学でしたが、できるのかと悩む前にやってみてよかったです。」

課題研究は仕事に結びつけて、日本の電子部品メーカーの成長の背景を、技術面・財務面・社会的背景などから多角的に考察することだ。「大学院の敷居は決して高くありません。選択肢の一つに加えてみて下さい。入学したら定期券を買ってしまっって、通学意欲を保ち続けるのがコツですね」。

# 日高正行

さん(63法)

## 名古屋へ いりゃあせ

いま、名古屋が熱い。二四時間眠らない「中部国際空港」の開港に続いて「愛・地球博」が開幕。連日多くの人が内外から訪れ、街は華やいている。名古屋城では地上に下ろされた金鯱に触るつと人々が列を成し(注:六月一九日をもって終了)、本丸御殿再建にむけた動きも始まっている。

**日高** 本当に隔世の感があります。私が市役所に入った頃は、戦後復興の象徴「一〇〇m道路」も舗装が十分でなく穴ぼこ。再建が成ったばかりの名古屋城と、テレビ塔だけが高くそびえ立っていていますね。誰一人として知る人のいない名古屋で、さてどうしようかと思っただけです。何故ここに来たかという、独身寮に惹かれたからです(笑)。当時名古屋は、他の地域からも積極的に職員を採用しようというわけで、寮を建てたんです。鳥根原出身の私にとっては、これは魅力的でした。

財政局に配属され、そろばんに泣かされながらも金の流れから街の姿を知るといっ

貴重な経験ができた新人時代。市民の声に耳を傾け、議員と折衝する中で、人といっものを存分に知った中堅時代。そして三五年目に収入役に就任、敏腕を振るう。市役所を退いた現在は、名古屋観光コンベンションビューローの理事長として、観光客、ビジネス・コンベンション客の誘致の先頭に立っている。市政の経験と、他所の出身者ならではの目を存分に生かして、名古屋の魅力の発信に心血を注ぐ毎日だ。

**日高** 国際空港、万博という仕掛けが揃った今は、名古屋の魅力を知っていただく千載一遇のチャンスだと思っています。多くの方に

来ていただくことで活性化される産業分野は多岐にわたり、その後の街の発展にも大きく影響してきますか



オアシス21とテレビ塔

21年ぶりに鯱不在の名古屋城天守閣

金鯱  
写真提供:名古屋観光コンベンションビューロー

# 名古屋「観光新世紀」の舞台で





名古屋の魅力、  
人間日高の魅力

名古屋井のイントネーションがすっかり板についている。名古屋人以上に名古屋を知り、今ある姿に整えてきた日高さんの勲章である。

日高 例えば東京から名古屋へ転勤、家族で転居という時には、奥さんが二度泣くという話があります。初めは「あんな野暮ったいところへ行くのは嫌だ。言葉も汚いし」と泣き、数年後、帰るとなると「ここから離れたくない」と泣くというんですよ。この地の住みやすさは、どう表現したらよいのかわからないが、非常に魅力的なんですね。住む人はあたたかく、平坦で土地利用がしやすく、安全・清潔、便利。まあ、願わくばもう少し景観の魅力につながる起伏があったらとか、謎めいた部分がほしいとも思っています。

私はずっと、都市を人間の身体になぞらえて考えてきました。大学が集積しているような頭脳に相当する地域、食生活を担う地域、スポーツや健康作りの場所、排泄に係わるところ、そして、少しばかり怪しげな、心の奥底のようなところもあっていい。メリハリをつけるためのポイントが必要なんです。人間の社会だって、いろいろなタイプの人がそれぞれを持ち場で活躍しあうから上手くいくわけだね。

では、公務員人生を全うしてきた日高さんは、どんな人なのだろうか。

日高 退路を断って田舎を出てきましたから、ここに居て頑張らなければいかん、何があっても動じてはならないという意識はずっと

らね。イベントを成功させることは勿論ですが、その成果を街づくりに生かすことも重要で、我々はその入り口を担っているわけです。

名古屋の何をいかに見せるか。従来、名古屋がいわゆる観光の対象とされることは多くはなく、市民の側も、見せる、観られるというところにほとんど関心がなかった。意識改革も含め、工夫のしどころである。

日高 観光資源はね、実はたくさんあるんですよ。名古屋では武家文化のすべてをお見せできますし、食文化も面白い。誇れるものいろいろと持っているのですが、ここでは長らく観光を生活の糧にしようという発想がなかったんです。この地方は豊饒な土地に恵まれ、昔から技術水準も高いので、それだけで十分な暮らしができました。「皆さん、どつ

ぞ名古屋へお越し下さい」と、進んでPRする必要は、かつてはあまりなかった。これがややもすれば自己完結的、閉鎖的な土地柄とされる原因だと私は思っています。

けれども今は積極姿勢に転じています。海外の主要都市との観光協定を一生懸命結びつつあるとともに、この街の強みである物づくりを生かした「産業観光」を打ち出して、アピールしているのです。これは、トヨタ自動車や、陶器のノリタケカンパニー等々、各メーカーのご協力をいただいて、物づくりの歴史や製造現場を観ていただくというものです。当地には産業技術関連の博物館や資料館も多いですからね。これらを組み合わせたモデルコースがいくつもありますから、ぜひご覧いただきたい。若い方々が職業を考える上での動機付けになったりすれば、なおのこと嬉しいじゃないでしょうか。

## Masayuki Hidaka



日高正行さん

- 1939年 島根県に生まれる
- 1963年 立命館大学法学部卒業  
名古屋市役所財政局に勤務
- 1982年 名古屋市長総務局人事課長
- 1984年 同 総務課長
- 1991年 同 プロジェクト室長
- 1992年 名古屋市長
- 1994年 名古屋市長
- 1996年 名古屋市長
- 1998年 名古屋市長
- 2002年 (財)名古屋観光コンベンションビューロー  
理事長に就任 現在に至る

なお、東海島根県人会会長も務める

名古屋観光コンベンションビューロー  
ホームページ  
<http://www.ncvb.or.jp/>



ライトアップされた名古屋国際会議場  
写真提供：名古屋観光コンベンションビューロー

持っていました。でも、仕事は、どれもこれも一人ではできないものはかりなのでね。いかに皆さんと一緒に仕事をするか。周囲にたくさんいる、頭のいい人たちの和をどうするか。そればかり考えていました。私が皆さんとちよつと違っていたところは、例えば〇〇人の部下がいたとしたら、能力的にちよつと、とか、人と上手くやるのが苦手な落ち込んではしまうような人も出てきますね。私は、その一人二人のほうが大事に思えてしまったのでした。よくできる人は、放っておいても大丈夫なんです。目配りを続けると、何かのきつかけで元気になる、仕事をちゃんとやってくれるようになる。私はその姿が本当に嬉しかった。

港区長をしていた頃が一番楽しかったのですが、それも、区民といつも一緒に、地元で根付いた生活文化を目的に当たらにできなかったからです。人の営みが好きなんです。

若い頃から、仇名が「日高のおっちゃん」でしてね。上司からもそう呼ばれていたから、ずいぶん爺臭かったのかな(笑)。後輩がよく相談に来てくれました。それは今でも同じ

なんです。私はただ、「うん、うん」と耳を傾けていただけなんですけれどもね。

### 愛すべきライバル京都

学生時代に、教授や学生仲間だけでなく様々な境遇、年齢の人たちと出逢ったことが財産になったと日高さんは言う。アルバイト先で知り合った、またデビュー前だった歌手沢田研二や、そこに集まる飲み客かたや、デパートの砂糖売場での同僚たち。

**日高** みんないろんな形で、多かれ少なかれ苦労していて、私もその一人でね。影響を受けましたよ。行政に携わってからは、市民に対して視線を上げすぎず、下げすぎず、中庸に徹することが大事だと思ったのも、肝心な場面こそ派手に立ち回らずコツコツ仕事する姿勢を貫けたのも、あるいは京都での人生経験のおかげなのかもしれません。立命館の字風のおかげもあるのかな。

立命館は昔から、しぶとくてへこたれない

人間を生んでいきますね。名古屋市職員三万人のうち、約1%が立命館校友なのですが、会う人会う人、それぞれしぶとい(笑)。

万博が終わった後も、名古屋が活気あふれる国際的な都市であり続けられるように、日高さんは遙か先まで視野に入れて戦略を練っている。

**日高** 大きな国際会議の誘致となると、これは五年、一〇年かかる話です。すべてに目を光らせていなければなりません。万博により知名度がアップし、国際的な往來の利便性も格段に良くなった今がチャンスです。ただ、せっかく名古屋で会議という運びになっても、コンベンションの後にはすぐ京都に行ってしまう例が多くていけない。これを阻止するのが、私の大事な仕事です(笑)。良き思い出の街京都と、立命館人らしく、しぶとく渡り合っていきますよ。



# 窓の恩師

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します。



**辻村 寛**  
名誉教授(理工学部)

つじむら ひろし  
1953年～現在  
放電現象

先生からの一言

教壇生活50余年も今年度で終えることになりました。皆様から若々しいエネルギーを享受できたことに感謝しています。皆様の仕事は日進月歩の分野だけに、常に知識のリフレッシュを心掛けて下さい。

「ありがとうございました。」一九九二年開催の辻村・前田研究室OB会で、辻村先生に頂いた挨拶の締めくくりの言葉でした。準備に奔走した色々な事がいっぺんに吹き飛び、熱いものが込み上げてきました。

毎年恒例のOB会準備で「案内状を発送できていない年度が相当ある。」と言われた先生の言葉が印象的でした。修士進学が目前の頃、OB名簿の整備をしようと約四〇〇名分の原本をお借りして、約二〇〇名のOBの方々に電話で確認させていただきました。名簿作成の趣旨に快く賛同していただき、「先生はお元気ですか?」「よろしくお伝えください。」の感謝の言葉ばかり。長年情熱と信念を傾けて来られた辻村先生のお人柄だと敬服いたしました。

OB会は旧交を温めるばかりでなく、各方面で活躍の方々との世代を越えたネットワーク創り、新たな価値の創造の場と考えます。何といたっても恩師辻村先生の下に集い育まれた強い絆の「なかま」なのです。現在は蒲山研との合同OB会として二年に一度開催しております(次回二〇〇六年六月予定)。私も一人のエンジニアとして日々奮闘しております。今ここにあるのは、大学院中退の迷いに耳を傾け温かく見守っていただいた辻村先生、前田先生、小山先生、九〇年卒研究生の皆様のおかげです。「あの時の選択が良かったかどうか、答えは君自身が出すのだよ」との、修了後頂いた辻村先生の言葉を一生のテーマとして二十二年を重んじております。

教え子

上園昌一郎

(株)日立製作所 勤務  
(92 院理工博前)記



**奥地 正**  
名誉教授(経済学部)

おくち しょう  
1973年～現在  
森林と環境の経済学

先生からの一言

激動と価値観の多元化の世紀、その中で個々人の生き方が厳しく問われています。うえんなようなのですが、「よい実なる樹になろう」という小生と家内のモットーをエールとして皆さんに送ります。

一九九九年二月、奥地ゼミ三年度最終講義終了の鐘の音が教室中に鳴り響いた際、一つの歴史が幕を下ろしたように感じました。それだけ、奥地ゼミ生であることへの「誇り」と、仲間たちへの「想い」がとても大きくなっていったからでしょう。

授業中の奥地先生は、温和な人柄・柔らかな所作・朗らかな笑顔・穏やかな語り口によって、「癒しの雰囲気」を醸し出されてきましたね。それにつられて気を緩ませていると、途端、鋭いツツミの応酬を受け、息も絶え絶えになっていたものです。

その父親然とした温かな眼差しの下、沢山ヤンチャを致しました。宴会(先生の美声に酔いしれました)に小豆島旅行(肝試し最高!)、そしてインターゼミナル大会出場(燃えました!)、卒業論文集作成(傑作です!)等々。全て、真剣勝負奥地先生の真摯さ、誠実さ、実直さは、我々ゼミ生に浸透し、妥協することなく自己と向き合うことを教わりました。こういった思い出は、今でも私たちの心の中で燦然と輝き続けています。また、奥地ゼミにおける「心の友」と呼び合える仲間との出会いは生涯に通じる最高の財産と言えるでしょう。ああ、奥地先生にとても感謝しています。何もかもが「奥地先生」を起点として派生していったのですから!! 我々奥地ゼミOBは、先生が奥様と仲睦まじく元気でいらっしやることを何よりうれしく思います。一升瓶を片手に、皆でお宅にお邪魔します(!!)ので、その時はわいわい騒ぎませしょうネ!!

教え子

倉永由紀子 (90 経済)記  
(株)電通 勤務





# ニート

若者の「いま」から  
新しい社会の方向性を探る

齋藤 真緒

立命館大学 産業社会学部助教

Not in  
Employment,  
Education or  
Training



Q ニートとは何ですか。



ニート (Not in Employment, Education, or Training) は本来イギリスで用いられた言葉であり、一六歳から一八歳までで、義務教育終了後、進学も仕事もしていない、職業訓練も受けていない若者を指します。日本の場合は、「仕事をせず、失業者として求職活動もしていない非労働力のうち、一五歳から三四歳で卒業者かつ未婚で、通学や家事を行っていない者」(労働経済白書)とされていますが、非常に曖昧で数値化しにくい概念です。就業意欲をもっている失業者や専業主婦は除外されていることが日本の特徴です。また、ニートのなかには、「ひきこもり」も含まれます。二〇〇四年厚生労働省が初めて行った集計では、五二万人と推計されており、「かなりの数にのぼる少数派 (Significant minority)」(玄田有史・曲沼美恵『ニート フリターでもなく失業者でもなく』幻冬舎) となっています。

Q ニートが増加している背景にはどのようなことが挙げられますか。



ニートはしばしば個人の「意欲」や「甘え」の問題としてメディアなどで取り上げられますが、「フリター」問題と同様、ニートが増加する背景には、新規卒者の一斉・一括採用の抑制、即戦力志向、あるいは終身雇用制度の崩壊といった、歴然とした産業構造の問題が存在するということを認識しなければなりません。さらに、学校から職業生活への「移行 (transition)」システムの機能不全、「パラサイト・シングル」に象徴されるような家族関係の問題、ソーシャル・ネットワークの枯渇化、地域社会における居場所の喪失、あるいは自分自身に対する自信喪失といった問題も存在しています。既存の社会システムのひずみや矛盾といったものが、これからの生き方を模索している若者に集中して顕在化していると考えられます。若者を「社会的弱者」に転落させるような社会(宮本みち子「若者が 社会的弱者」に転落する「洋泉社」であってはならないと思います。

Q ニートが今後増加した場合、社会にどのような影響を及ぼしますか。



わたし自身、思春期保健相談士として学生から相談を受けた経験から、彼女・彼らにとって、就職の問題、人間関係の問題、家族の問題等はすべて、自分の生き方と密接にかかわるひと続きの問



キーワードから見る

現代



ニート

若者の「いま」から  
新しい社会の方向性を探る

ニートとは、若者の失業問題に悩んでいた英国が使い出した言葉で、

『Not in Employment, Education or Training』の頭文字。

ニート問題については、これまでに、国内でも様々な議論がなされ、

一部では「ニートになる人には、高等教育を受けた人が意外に多いという現実もある」との分析もある。

そこで今回は、キャリア教育のあり方を含め、高等教育における対応モデルのあり方を検討するべくお話を伺った。

題です。そういう意味で、「ジョブカフェ」の拡充や「若者自立塾」といった限定的な就業支援政策、あるいは個別分断的な対応策だけでは限界があります。すでに七〇年代後半から八〇年代にかけて若者の失業が増加傾向にあった欧米諸国では、若者をトータルに支援する必要性がすでに指摘されており、たとえばイギリスでは、Youth Trustを設置し、世代全体への包括的な政策に取り組んでいます。そして何よりも、ニートの問題を、若者世代の問題ではなく、ニートを通じて顕在化している社会システム全体の問題として位置づけ、新しい社会システムへの「過渡期」として捉えることが重要であると考えています。既存の社会モデルの尺度による「勝ち組」「負け組」といった二分法としてもなく、あるいはいたずらに若者ハッシングに走るのでもなく、新しい働き方のスタイル、人間関係のあり方、ひいては社会・政治参加のあり方を模索する契機<sup>11</sup> チャンスとして、巨視的に問題を捉えることが重要ではないでしょうか。

Q 高等教育におけるキャリア教育の視点から、今後必要なことは何ですか。

A

日本の場合、ニートの中でも高等教育を受けている割合が高く、

「誰もがニートになるかもしれない」(玄田・曲沼 前掲書)ことが指摘されています。

す。そうした中で、就業への「移行」過程の柔軟化とともに、高等教育におけるキャリア教育は、今後ますます重要性を増すと考えられます。インターンシップ等を通じて、在学中からの就業体験や、多様な社会参加を通じた体験的学習などの面での、さらなる工夫が求められています。ヨーロッパなどでは、フレ労働支援の取り組みがなされるなど、若者の労働以前の社会参加を積極的に促す傾向があります。しかし同時に、就業への移行を、キャリア教育そのものの拡大・充実のみに矮小化するのではなく、これからの地球社会の主体的担い手たる市民の輩出という、シテインシップ教育の発展・充実と連動させていくことが、これからの高等教育に求められている使命ではないでしょうか。



Profile  
さいとう まお

立命館大学産業社会学部 助教授

【専門分野】  
家族社会学

主な著書・論文

『子育てサークル共同のチカラ

京都の子育てネットワーク当事者性と地域福祉の視点から』

(共編著、2003年、文理閣)

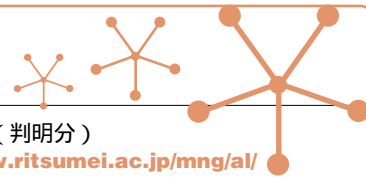
『ケアをめぐるアボリア 「ケア」の理論的系譜』

(単著、2003年、『人間科学研究』、立命館大学人間科学研究所)

『親性の「個人化」 家族の分析視角としての「個人化」論の可能性』

(単著、2000年、『立命館産業社会論集』、立命館大学産業社会学会)

# 校友会ネットワーク



本年3月～6月中旬に行われた各団体の行事です(判明分)

\*詳しくは校友会ホームページをご覧ください <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>

## 都道府県校友会ほか

- 4/8 千葉県校友会青年部花見会
- 4/29 宇部・小野田校友会親睦登山  
(19名・寂地山)
- 5/14 山梨県校友会総会  
(28名・ロイヤルガーデンホテル)
- 5/28 奈良県校友会総会  
(150名・奈良ホテル)
- 6/4 大阪地区新人歓迎会  
(70名・大阪中央公会堂  
「中之島倶楽部」)
- 6/12 滋賀県校友会総会  
(70名・BKCローム記念館)



山梨県校友会総会



奈良県校友会総会

- 5/24 高松市役所立命会(35名・だいりん)
- 5/27 姫路市役所衣笠会総会(40名・ホテルサンガーデン姫路)
- 6/8 高槻市役所槻立会総会(48名・アンシェルデマリアージュ)
- 6/9 西宮市役所立朋会総会(90名・ノポテル甲子園ホテル)

## 学部・学科校友会

- 5/27 建設会広島県支部総会(80名・リーガロイヤルホテル広島)
- 6/11 法学部同窓会総会(150名・スイスホテル南海大阪)

## サークルOB・OG会

- 5/8 交響楽団創立50周年記念式  
(300名・リーガロイヤルホテル京都)
- 5/14 日本経済研究会OB・OG会総会(30名・ぱるるプラザ京都)
- 5/21 スポーツフェロー懇親会  
(500名・京都全日空ホテル)
- 6/4 経営学研究会OB会総会  
(25名・鶴匠の家「すぎ山」)
- 6/11 マスコミ研究会OB会総会  
(40名・衣笠キャンパス以学館食堂)



スポーツフェロー懇親会

## 地域校友会

- 3/6 愛知県東三河支部結成総会  
(108名・ウェステージ豊橋)
- 4/1 テキサス会懇親会(猪小料理)
- 4/10 兵庫県西宮支部設立総会  
(100名・西宮市民会館アミティホール)
- 5/8 天理わだつみ会総会  
(32名・ウェルカムハウスコトブキ)
- 5/21 シカゴ会歓迎会(11名)
- 5/22 静岡県校友会富嶽会総会  
(33名・沼津市産業振興プラザ)
- 6/10 愛媛県校友会宇和島支部総会(20名・第一ホテル宇和島)



愛知県東三河支部結成総会



シカゴ会歓迎会

## その他の会

- 3/11 立命塾(30名・東京ドームホテル)
- 4/9 法学部井戸田会総会(80名・ホテルグランヴィア京都)

## All-Rits Event

- 5/8 ALL Ritsスポーツ観戦交流イベントIN関西  
(105名・神戸ウィングスタジアム)  
兵庫県校友会・関西若手校友有志主催。立命館大学・APUの校友に両校の在生も加わり、サッカーJリーグ観戦と交流懇親会をセットにしたイベントを楽しんだ。



ALL Ritsスポーツ観戦交流イベントIN関西

## 職域校友会

- 4/13 楽人会研修会・懇親会(18名・京都司法書士会館)
- 5/9 ダイワハウス大阪立命会総会(大阪第一ホテル)
- 5/14 滋賀銀行比叡会総会(140名・大津プリンスホテル)
- 5/22 中京地区若手校友教員交流会  
(12名・名古屋ガーデンパレス)



# All-Rits

詳細は校友会大会実行委員会で検討中です。  
 決定内容は順次校友会ホームページでお知らせし、  
 校友会報次号(10月号)誌上でもご案内いたします。  
 校友会ホームページ: <http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

## 立命館校友大会2005のご案内

メイン会場だけでも1,500名を超える校友が集った前回大会。

今年も多数のご参加をお待ちしています。

大会名称に掲げた「All-Rits」。

2大学3附属中高、そして来年には小学校ともう一つの附属校が加わり

「立命館」はさらに大きく展開します。

各校校友・同窓、現役学生・生徒ら「All-Rits」が集い、

それぞれの力が結集する大会会場で

「立命館」のあふれるエネルギーをぜひ体感してください。



**会場**  
 ●メイン会場  
 ホテルグランヴィア京都(JR京都駅ビル)  
 ●大会関連イベント会場  
 「JR京都駅ビルイベントスペース」  
 「室町小路広場」、「駅前広場」

**日時**  
 2005年11月5日(土)  
 午後5時スタート  
 ※午後1時頃から学園祭プレステージ等も予定しています

### 二条移転に向け新執行部を選出

二〇〇五年度幹事会報告

六月五日(日)二時から、衣笠キャンパス以学館一号ホールにおいて、校友会本部幹事会を開催した。議事とその結果は次の通りである。

#### 1 幹事の選任ならびに本部役員体制の報告

本年は任期(一期三年間)満了による幹事改選の年である。今期幹事四三四名を選任した(留任あり)。なお、五月三〇日に行われた常任幹事会で確立した本部役員体制の紹介があわせて行われた。岡泰造副会長(58歳)、安田祐造財務委員長(52歳)、小畑力人二世紀構想委員長(72歳)の三氏が退任され、後任の副会長に村上健治氏(70歳)、財務委員長に渡辺三彦氏(68歳)が就任されたことが山中諒会長(65歳)から報告された(二世紀構想委員会については後述)。退任された三氏には感謝状が贈呈された。特に安田前財務委員長には、半世紀の永きに亘り会本部の活動を推進していただいた。岡前副会長には、後述する「二条キャンパス移転推進委員会」の委員長として、移転完了まで引き続き指導頂く。

#### 2 学校法人立命館評議員候補者の推挙について

校友会から推挙する候補対象者四八名が選出された。

#### 3 校友会本部機能の二条キャンパスへの移転について

二〇〇六年秋、学校法人本部が二条キャンパス(仮称)へ移転することに伴い、校友会本部の同地への移転、特

別委員会「二条キャンパス移転推進委員会」の設置が承認された。

二条キャンパス移転推進委員会  
 委員長: 岡泰造(前副会長)  
 委員: 西村義行(副会長兼総務委員長)、尾崎敬則(副会長兼広報委員長)、渡辺三彦(財務委員長)、高杉巴彦(常任幹事)

事務局: 志垣陽(事務局長)、名主川久仁(事務局長補佐)

#### 4 校友会会則の一部改正

二世紀構想委員会(発足時「新世紀構想委員会」)が、その目指したところを終え、解散、廃止された。

#### 5 報告事項ほか

二〇〇四年度決算・二〇〇五年度予算、All-Rits立命館校友大会二〇〇五、インド洋大津波災害支援募金状況、各都道府県校友会総会開催時の賛助金額。

本部幹事会終了後、以学館食堂にて懇親交流会が開催され、村上副会長のご発声で乾杯、全国各地の校友会活動の情報交換、交流が促進された。

校友会2004年度決算・2005年度予算案

科目	2004年度決算額		2005年度予算額	
	収入(部)	支出(部)	収入(部)	支出(部)
前年度繰越金	10,130,162		13,583,884	
会費収入計	264,878,000		208,200,000	
資産運用収入計	1,917,558		1,850,500	
大会収入計	13,621,060		13,000,000	
その他収入計	978,616		350,000	
合計	291,525,396		236,984,384	
科目	2004年度決算額		2005年度予算額	
人件費支出計	17,353,995		18,300,000	
一般経費支出計	36,029,046		34,350,000	
組織強化費支出計	40,800,854		43,500,000	
事業費支出計	59,257,617		81,200,000	
特別会計繰出計	124,500,000		54,500,000	
予備費	0		5,134,384	
翌年度繰越金	13,583,884			
合計	291,525,396		236,984,384	

注)支出の部「2004年度特別会計繰出」として以下の通り執行いたしました。  
 終身会費積立金: ¥120,000,000(積立金計: ¥724,588,960)  
 会館建設基金: ¥2,000,000(基金計: ¥83,797,288)  
 名簿発行準備金: ¥2,000,000(準備金計: ¥17,734,784)  
 記念大会準備金: ¥500,000(準備金計: ¥4,601,567)

## 入学式に想う

宮崎 房子 (59 経済)

私が立命館大学に入学したのは、今を去る四〇年前のことになりました。

今年四月、大阪ドームでの入学式に招かれた私は、あの頃とあまりにも違った姿に本当に驚きを禁じ得なかつたのです。「隔世の感がある」とはまさしくこのことです。

あの頃の立命館の学生は、そのほとんどが男性であり、黒い学生服に身を包んだ者はかりが、あの角帽をかぶっていた姿、それはもはやいにしえのものとなってしまつたようです。

今は女子学生が激増しており華々しく、かつ男子学生もそのほとんどがスーツ姿で、実になごやかな雰囲気

気が満ちあふれていました。私は経済学部に入りましたが女性ばかりで、たまたま徳島の両親にあてて、「入学すべき大学が違つていた。帰りたい。」と電報を打つたのでした。折り返し父から、乗りかかった船には乗つてしまえ、との返信があり、私はこの電文を読んで始めて立命館に入学したのだと確信したものでした。

入学式で末川博総長から訓示された次の言葉を座右の銘として今日まで生きてきました。「諸君は若い。」

若いと

いうこと

は未来が長い

ということ

である。諸君！

未来を信じ、未来に向か

つて力強く生きよ！これは私の処世訓であり、人生に困惑したとき、悲しみに打ちひしがれたとき、この言葉に勇気づけられてきました。

立命館、それは私を支えてきた心の土里であり、誇り高き素晴らしい母校です。

## 縁は異なるもの…夏の到来を待ち侘びて

藤木 奈緒子 (87 文)

昨秋、リつめい読者の会に初めて参加した。少々緊張もしたが懐かしい京都、妙心寺界隈の秋の一日は、本当に印象深かった。普段養護学校という職場で、子どもたちのことを中心に考えている私には、初めてお会いする校友の方々からの近況報告や校友会報に対するご意見は、とても新鮮に感じられた。未知の世界を垣間見た楽しいひとときであった。

いつもは忙しくて、「休日」は、身体の休養日にしていただが、この日は心の洗濯ができ、その上重かな気持ちになれた一日だった。その上、嬉しいことに、そこで出



じゆうせき

# 席

会った同

期の方と

メールをや

りとりするよう

になった。「同期の

異業種の校友達とのネッ

トワークを作りたいですね。」大きな夢ができた。また帰路、京都駅まで車でお送りした先輩からは温かいお便りと共に地元紙部焼きのカップを頂いた。心温まる思いで毎日使わせて頂いている。

その「読者の会」の記事と集合写真が縁で、職場に校友がいることを知った。遠くにいる友だちからも連絡が来るようになった。

そして、何とこの夏には日本史学科同期の会を京都で開くことになったのだ。私にとっては、卒業後初めての同窓会である。何の代わり映えもしない私に対して、みんなはどんな風に変わっているのだろう。どんな人生を歩んでいるのだろう。期待で胸がワクワクする。縁は異なるもの味なもの…。大事にしたい言葉である。

## 定年後をどう生きるか

丁 生 (67 経済)

私は、この三月で定年を迎えた。三八年間の長きに亘る会社勤めであったが、今考えると、あの時こうしておけば、今とは違つた定年を迎え

ていたのではないかと、という節目があったような気がする。しかし今となっては如何ともし難い。それよりもこれから先どう生きて行くかが最大の課題である。

先輩諸氏から、様々な忠告や激励を賜った。「会社のため、家族のために働いてきたのだから、今度は自分のやりたいことをやったらどうか」、「暮会所に毎日通っている。君も趣味を生かしたら」、「社交ダンスを二〇年近くやっている。健康にいいですよ」、「今、こうしていることに動いています。ボランティアみたいなものだが、やりがいがありますよ」…。どうも人間というもの、何か目標、生きがいというが、究極は「人間として生きた証し」を求めて生きていくものなのだという気がする。「衣食足りて礼節を知る」と言つた人間は、衣食住だけでは精神的に満足しない生き物だと思つて思つた。

大阪の朝日放送で土曜日に放送されている「人生の楽園」(会社を辞めて田舎で民宿を始めるなど)と、それまでとは一八〇度違う生活をする人々を紹介する番組。皆、後半生を本当に充実させて生きておられるのを見るに付け、ああいつ生き方をしたいと思つたのだが、いざ、自分のこととなると、戸惑つてしまつた頃である。

校友会編集係まで原稿をお寄せください。郵送・FAX・電子メールいずれも可。連絡先は裏表紙を参照ください。



## 世界に稀なる 校友会を目指して

立命館アジア太平洋大学校友会

**APU**

### 立

命館アジア太平洋大学校友会（APU校友会）は、第一期生の早期卒業と共に、二〇〇三年に発足しました。現在、約一千名のメンバーにて構成されています。

APUが世界に類稀なる大学だとすると、APU校友会も世界に類稀なる校友会組織にするべきだという理念のもと、柔軟な発想で、活発に活動したいと考えています。

五月一四日に、役員らが全国から立命館大学衣笠キャンパスに集まり、運営委員会を行いました。その結果を踏まえて活動目標等をご紹介します。

まず、世界中で活動するメンバーのために、オンラインをベースとした校友ネットワークの構築を目指します。現在、そのためのプラットフォームを構築中です。

また、大学と校友、そして在学生を繋ぐ存在として、APU校友会をボジショニングします。卒業生のみならず、在学生もAPU校友会にとって重要な存在だと認識しているためです。

さらに、新しいAPU校友会が、立命館学園全体の校友会を刺激し活性化させる存在となるよう、Y・I・C・O・Sの視点から位置づけられます。

今年一月には、東京オフィスの協力のもと、東京在住のAPU校友と教職員が懇親会を開催しました。社会に出た校友が発したAPUの運営に向けた貴重な意見を、今後の教育プランニングに反映して頂きたいと考えております。

当会が、APU、そして立命館学園全体に対して付加価値を提供し貢献できる存在となるよう、前向きに取り組んでいく所存です。ご支援・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

会長 竹本慎也（'03 APM）記



## われら立響人

立命館大学交響楽団OB会

**Koukyousaku**

### 立

命館大学交響楽団を略して「立響」と呼びます。立響は一九五〇年の創団以来九〇〇余名の卒団生を送り出していますので、現役団員約一五〇名を加え、現在の立響人は一千名を越えていることになりました。

卒団生立響人たちは年二回の立響定期演奏会を中心に全国から集い、各世代が旧交を温めます。そして、何より嬉しいのは立響の演奏力が年毎に上がっていくことです。近年格段に演奏技術の向上した立響は、今や大学オーケストラの雄としての地歩を固めつつあり、注目を集めています。昨年は創立五〇周年を迎え、第九二回定期演奏会では立響史上四回目の『第九』が演奏されました。一七〇〇人近い来場者を会場のザ・シンフォニーホールに迎え、わが立響は正に白熱の『第九』の演奏を繰り広げました。内外から空前の成功だったとのお言葉もいただいております。

去る五月八日には、創立五〇周年式をリーガロイヤルホテル京都で挙行了しました。学内外から多くの来賓のご臨席を得て、総勢三〇〇人近い立響人たちが集い、五〇周年を祝いました。席上、長田総長はじめご来賓各位より温かい励ましのお言葉を頂戴し、本学の音楽文化をリードする立響の関係者として、身の引き締まる思いをしている今日この頃です。

現役立響人たちは、日々精進に精進を重ねています。卒団生立響人も現役支援に懸命に頑張っています。これからの立響の発展にご注目いただきますようお願い申し上げます。

佐藤勝博（'75 経済）記



# 立命館大学における 社会人の学び

[データで見る社会人学生]

特集 2



## 全国的な社会人学生の 入学状況

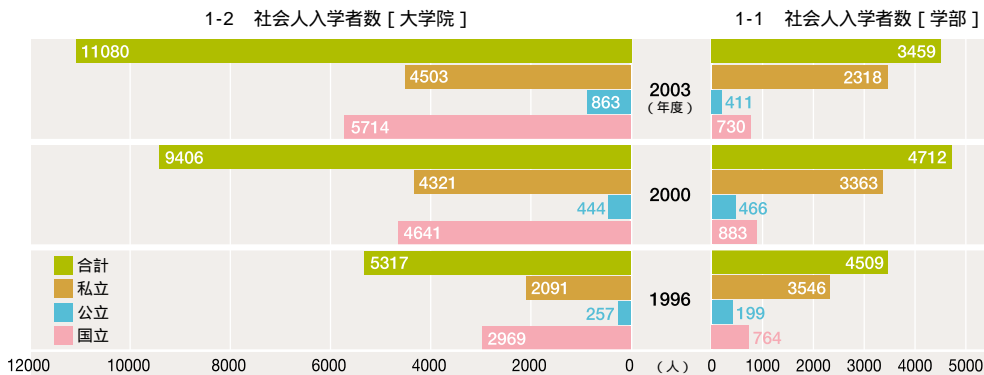
近年、国公私立を問わず大学における社会人学生の積極的な受け入れが進んでいます。

立命館は、一九〇〇年に創立された京都市法政学校から出発していますが、ここは勤労者のための夜学でした。そういう意味では、立命館大学はその創立から社会人に開かれた大学であったといえるでしょう。この特集2では、「立命館大学における社会人の学び」をデータや制度の面から紹介します。みなさんも機会があれば、ぜひ母校での多様な学習機会をご活用ください。

「何を今さら、無理して大学へ行くの!」と、背中からそんな声が聞こえてくるような気がした。でも私たちは大学に行きたかった。「これは『夢はいつか実現できる』社会人の大学・大学院への挑戦』(文理閣)の最初の一節。立命館大学に入学した社会人学生七人の奮闘記は新聞報道でも大きく取り上げられました。

社会の成熟化や多様化の中で、大学を卒業し社会に出た後で、「もう一度しっかりと学びたい」「専門分野をきわめたい」といったニーズが高まりつつあります。実際社会人になってからの方が大学生の時以上に目的意識が明確で学習意欲が高いという声も聞かれます。大学のキャンパスにおいても、多様な年齢層の学生を見かけることが増えました。企業人、学校教員、看護師、新聞記者、公務員など、社会の最前線で仕事をしている人や、専業主婦・定年退職を迎えた人など多様な社会人が大学で学んでいます。

す。文部科学省の調べによると、社会人特別入試による大学入学者数(学部・大学院の合計)は、一九九六年度の九千八百名から二〇〇三年度には一万四千五百名へと約一・五倍も増加しています。中でも特徴的なのは、学部入学者数は四千五百名から三千五百名へと約二千名減少しているにもかかわらず、大学院において五千三百名から一万二千名へと二倍以上に増加していることです。近年の社会人入学は、学部から大学院へと急速にシフトしているといえます。



【図1】全国的な社会人入学者数の状況

(注) 文部科学省調べ(「平成16年度文部科学白書」より作成)





【表2】立命館大学における  
社会人学生数（大学院）

2005年度	研究科	修士課程	博士課程
	法学研究科	8	2
	社会学研究科	28	3
	国際関係研究科	15	1
	政策科学研究科	10	3
	文学研究科	12	0
	応用人間科学研究科	47	—
	言語教育情報研究科	41	—
	先端総合学術研究科*	17	—
	法務研究科(法科大学院)*	83	—
	衣笠キャンパス計	261	9
	経済学研究科	21	0
	経営学研究科	75	0
	理工学研究科	0	18
	テクノロジー・マネジメント研究科	23	—
	びわこ・くさつキャンパス計	119	18
	大学合計	380	27

(注1) 博士課程前期課程は「修士課程」と表記。博士課程後期課程は「博士課程」と表記。  
(注2) 先端総合学術研究科は5年一貫制博士課程。  
(注3) 法務研究科は標準修了年限3年の法務博士(専門職)課程であり、ここでの「社会人」の定義は、「大学卒業あるいは大学院修了後1年以上経過し、23歳以上の者」である。

【表1】立命館大学における  
社会人学生数（学部）

2005年度	学部	人数
	法学部	97
	産業社会学部	93
	文学部	163
	衣笠キャンパス計	353
	経済学部	43
	経営学部	59
	びわこ・くさつキャンパス計	102
	大学合計	455

(注1) 社会人特別入試により入学した学生数を示す。  
(注2) 記載のない学部は、社会人学生の在籍なし。

## 立命館大学における 社会人学生数

一般的に「社会人学生」の定義は明確ではなく、通常は社会人特別入試により入学した学生が社会人学生と位置づけられています。

立命館大学の学部における社会人学生数は、全学で四五五名、全学生数の約一・五%となっています。また、大学院においては三三四名となっており、全体の約一三%となっています。実際には、社会人特別入試以外で入学している人など、ここで示した人数以上の社会人学生が学んでいるといえます。

## 社会人のための 入学制度

### 学部

社会人のための入学制度は、社会人自己推薦特別選抜入学試験、社会人編入学試験(三年次編入)、協定企業・団体等推薦特別入試の三種類があります。

社会人自己推薦特別入試の場合、出願資格は、(1)入学時に満二十歳以上であり大卒入学資格を有する者、(2)社会人としての活動や経験を有し、相応の実績を持つとともに、大学において学ぶ意欲と問題意識および具体的な学習計画を持つ者とされており、書類審査・小論文・面接で選考されます。募集は、法学部・産業社会学部・文学部・経済学部・経営学部の五学部で実施しており、それぞれ若干名を受け入れます。すでに大学を卒業している方でしたら、社会人編入学試験で三年次編入をめざすことも考えられます。

### 大学院

大学院では、各研究科とも積極的に社会人を受け入れています。研究科毎に多様な社会人入学制度を実施していますが、大別すると、社会人一般入試、社会人推薦入試、社会人自己推薦入試、協定企業等からの推薦入試などの制度があります。社会人一般入試の場合は、研究科によって内容は異なりますが、筆記試験・小論文・面接(口頭試問)などで選考されます。社会人推薦入試の場合は、企業等での実務経験とともに所属組織からの推薦が求められ

ます。

社会人の場合は、自らの職業との関連で、より高度な知識や技術の修得をめざして大学院に入学するケースも少なくありません。特徴的な例では、弁護士・弁理士等の専門職の方が法学研究科、企業や非営利法人等の方が社会科学系の各研究科、医療・看護・福祉等の現場で仕事をされている方が応用人間科学研究科、学校教員の方が言語教育情報研究科、技術者の方が理工学研究科に入学するなどの例があります。また博士号の取得を目指して博士課程に入学される方もいます。

なお、大学院入試の過去の問題はホームページ(\*)でも公開されていますので、大学院入学をお考えの方は、ぜひチャレンジしてみてください。

\* <http://www.ritsumei.ac.jp/acd/gr/in>

【表3】立命館大学大学院における社会人特別入試の実施状況

研究科	社会人一般	社会人推薦	社会人自己推薦	協定企業等
法学研究科				
社会学研究科				
国際関係研究科				
政策科学研究科				
文学研究科				
応用人間科学研究科				
言語教育情報研究科				
先端総合学術研究科				
経済学研究科				
経営学研究科				
理工学研究科				
テクノロジー・マネジメント研究科				

(注1) は修士課程(博士課程前期課程)、は博士課程(後期課程)を示す。  
(注2) 実際の入学試験の名称は、研究科によって異なります。  
(注3) 各研究科とも、上記以外に一般入試があります。



【表4】大学院社会人入試の問題例(抜粋/2004年度論文・小論文より)

近年のグローバル化(globalization)の進行に伴い、さまざまな社会的矛盾が生じている。貧困あるいは社会的排除をキーワードとして使用し、現代社会の諸問題について意見を述べなさい。(1000字以内)【社会学研究科】

グローバル時代における多国籍企業の位置と役割と意義について詳しく述べなさい。【国際関係研究科】

環境負荷の削減のための方法について体系的、具体的に述べなさい。【政策科学研究科】

課税における平等原則(累進税率についてもふれること)について論じなさい。【法学研究科「税法」】

デフレ(物価水準の下落)が銀行などの金融機関、生産部門や流通部門の企業、そして家計に与える影響について述べなさい。【経済学研究科】

(注)上記の出題内容は、各研究科入試問題の一部(抜粋)です。

## 社会人のための プログラムや支援制度

### 学部

立命館大学では、社会人学生の受け入れにあたり、社会人が履修しやすいシステムを導入しています。たとえば、外国語科目を必修制ではなく選択制にしたり、他学部受講制度や大学コンソーシアム京都単位互換制度の利用、放送大学科目の受講などが可能です。また、本学入学前に大学・短大や専修学校の専門課程等で取得した単位を、二〇単位を上限に卒業必要単位に認定する制度などもあります。

### 大学院

仕事を続けながら大学院に入学される方

にとって、時間や場所は大変重要な要素となります。立命館大学では、キャリアアップをめざす社会人のために、大阪淀屋橋に二〇〇三年度から大学院サテライト「立命館アカデミア@大阪」を開設。平日夜間・土曜日に大学院のライブ授業や遠隔授業を実施しており、テクノロジ・マネジメント研究科(MOT大学院)や経営学研究科、言語教育情報研究科などの多くの社会人が学んでいます。また、二〇〇四年一〇月からは京都駅前の「キャンパスフラザ京都」でも大学院授業を実施しています。さらに二〇〇六年秋には、京都市の中心部交通至便なJR二条駅前に立命館の新キャンパスを開設し、そこに法科大学院や経営管理研究科(二〇〇六年四月開設予定)などの専門職大学院を移します。

経営管理研究科の入学定員は二〇〇名で、企業経営コース(ビジネススクール)五五名と企業会計コース(アカウンティングスクール)四五名の二コースを設置。ブラカデミック・アプローチ(実業界と学問界の融合)によるビジネス実践力を有するリーダー育成をめざしています。なお、経営管理研究科の教学を体験していただける「経営戦略セミナー」を、春と秋に大阪で行っています。

短期集中で専門的な知識や技術の修得をめざしている方に対しては、様々なショート・プログラムが提供されています。MOT大学院では、MOTショートプログラムやワークショップを、法学研究科では「金融と法」東京講座や「弁護士と弁理士を対象とした知的財産法の実務に関する専門家養成研修」を実施しています。

### 学校教員対象のプログラム

立命館大学言語習得センター(CLA)では、学校の先生を対象とした「英語教育夏季講座」を実施しており、大変好評です。また、立命館大学高大連携推進室においても高校教員を対象とした「英語・数学スキルアップ講座」を夏休みに実施しています。

## 大学のキャンパスは「学び」の宝庫

立命館大学では、戦後から連続と実施してきた伝統ある「土曜講座」や、びわこ・くさつキャンパス(BKC)開学を契機に市民対象に実施している「びわこ講座」、淀屋橋の立命館アカデミア@大阪で実施する「大阪オフィス講座」をはじめ、多彩な公開講座や公開講演会を実施しています(\*)。また、学術的な国際シンポジウムも多く、大学のキャンパスはまさに「学び」の宝庫といえます。公開講座等のイベント案内は立命館大学ホームページにも紹介されていますので、関心のあるイベントがある時には、ぜひキャンパスにお立ち寄りください。

\* <http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/kohof/annai/kyoiku/try/>

### 社会人入学に関するお問合せ先

電話 〇七五-四六五-一一一一(代表)  
「学部」立命館大学入学センター  
「大学院」立命館大学大学院教学推進課



4月29日より5月8日まで、京都の14の社寺等にて「京都春季非公開文化財特別拝観」が行われた。ここ数年、その特別拝観に、警備・案内のスタッフとして立命館大学古美術研究会のメンバーが携わっている。今年の特特別拝観を前に、70人もの大所帯をとりまとめる会長の西川さんに、活動内容やその魅力について伺った。

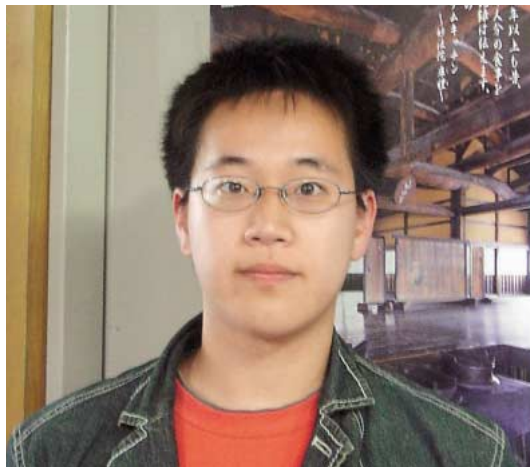
古美術研究会ではどのような活動をしているのですか？

「古美術」とは現代美術との対比で名付けられたもので、文化財のことを指します。入会時に「絵画・建築・彫刻・庭園」の4パートに分かれ、基本的にはパートごとに学習を進めていきます。週2回の分科会ではメンバーが自分の興味に即したテーマを設定し、個人発表をしています。その後質疑応答を行い、みんなで知識を共有したり高めあったりしています。

僕は庭園パートの所属ですが、庭園のことだけ勉強したいなら「庭園研究会」で良いわけです。しかし例えば学園祭で企画したり、非公開拝観のスタッフとして活動するには自分の所属パート以外のことも勉強する必要があります。そういう時に、会全体でフォローし合いながら勉強を進めています。

そして月に1回、週末を使って実際に社寺に赴きます。回るのは京都が中心で、1日に2~3ヶ寺回ります。ここではその時の幹事がレジユメを作り、現地で即席分科会を開きます。このフィールドワークにおいて分科会で得た知識の確認をし、新たな

## Rits One ときの人



### 西川 洋樹 さん

古美術研究会 会長  
文学部3回生

H i r o k i N i s h i k a w a

## 引き込まれる古美術の世界 もう一度学生生活があったとしても、 この活動をしていたい

発見をして次の発表につなげるというサイクルが僕たちを成長させています。

非公開文化財特別拝観警備・案内のスタッフとしての活動について教えてください。

今年春季は仁和寺金堂・観音堂と大報恩寺(千本釈迦堂)を担当しました。主な業務は警備・案内と拝観受付です。春の特特別拝観の場合は2月下旬に担当社寺が決まり、古美術研究会内の責任者が中心となって準備を始めます。ここ数年毎回公開されている仁和寺は、大学から近いこともあり、

ホームページもご覧ください  
<http://www.ritsumeai.ac.jp/infostudents/index.html>

受け持たせていただいています。が、毎年來られる参拝者の方から「今年もすてきな案内をありがとう」と労いを受けると感極まる思いです。学術系サークルとして、学んだことを社会に生かす「理論還元活動」を充分に行えていると思います。また、自分自身が知識を消化するためにも人に説明することはとても有効です。このような機会が与えられる限りは続けていきたいですね。

これまでの2年間を振り返って、今の心境をお願いします。

僕は本当に古美術研究会に入ってよかったと思っています。文化財研究をするには格好の場所である、ここ京都での大学生活において、一生懸命取り組んだこととして自信を持って言えますし、それを一生懸命やらせてくれる古美術研究会が僕は好きです。もちろん会長として、

みんなの意見をいかにしてまとめるか等苦心することもあります。それ以上に、例えばサークル内外での人とのつながりのようなかけがえのないものをたくさん得ることができました。

もう一度大学生活があるとして、その時点で今の充実した日々を知っていたら、絶対古美術研究会に入会しますね。このおもしろさを知ってしまったからには、もうやめられません。

取材：大西 藍(産業社会学部2回生)



にしかわ ひろき  
文学部地理学科3回生。古美術研究会会長。1、2回生時は学年を取りまとめる回生長を務め、2005年元旦より現職。

## 二〇〇六年四月、国際経済学科、国際経営学科を新設

経済学部、経営学部では、二〇〇六年四月にそれぞれ国際経済学科（入学定員二〇〇名）、国際経営学科（入学定員一五〇名）をびわこ・くさつキャンパス（BKCC）に新設します。二学科では、経済学、経営学の専門能力、柔軟な現実感覚、高い外国語運用能力、日本と海外の両方の文化に関する深い教養などを養成し、国際化時代のビジネスをリードする人材を育成します。

国際経済学科では「国際公共・開発経済」と「グローバル・エコノミー」の二つの履修モデルを、国際経営学科では「国際マネジメントユニット」と「異文化マネジメントユニット」の科目群を設けます。また、今後ますます重要となる東アジア地域を重視し、外国語科目の大半を中国語だけで履修できる「中国語コース」を新設するとともに、「中国語経済学入門」「中国語経営学入門」や中国語による専門科目を設置。外国語については学生の二割がTOEFL五五〇点やTOEIC七三〇点に到達することを目指し、少人数制のクラスを用意します。学生の海外体験を重視し、二学部共同で独自の海外教育プログラムを開発、学生の五割が海外で学ぶことを目指します。

## 進む高大連携

〔1〕理工学部・情報理工学部 全国二〇〇の高校と「高大連携に関する協定」を締結  
立命館大学では、高校と大学との教育上の連携、いわゆる「高大連携」を重視した取り組みを進めています。

今年三月、理工学部と情報理工学部では二〇〇の高校と「高大連携に関する協定」を結び、高校三年生を対象にインターネット回線を利用した「Webライブ講義」と大学キャンパスでの授業を組み合わせた「高大連携アドバンス・プログラム」をスタートさせました。さらに、プログラムの受講修了者を対象にした「高大連携特別推薦」による入学制度を創設、高大連携協定にもとづく特別授業を実施し、特別推薦入学につなぐ仕組みは、日本ではじめての画期的

な取り組みとなります。

特別授業では、「二一世紀のロボット社会にむけて」や「大規模集積回路（LSI）とは何か?」「インターネットの過去・未来」など、現代の最先端科学技術を高校生にわかりやすく解説することで、大学での学びに対する生徒の意欲を育みます。

今回協定を締結したのは、仙台育英学園高校（宮城）、名古屋高校（愛知）、比叡山高校（滋賀）、洛南高校（京都）、清風高校（大阪）、県立博多青松高校（福岡）、スイス公文学園高等部（スイス）など国内外の二〇の高校です。

〔2〕法学部 大阪府立八高校との高大連携プログラム 高大連携法学基礎講座」実施

法学部では、大阪府立の八高校と連携して、高校生のリーガルマインドや論理的思考力を養成するための高大連携プログラム「高大連携法学基礎講座」をスタートさせました。これは、基礎的で体系的な法学の講義を立命館大学法学部が高校に提供することにより、高校生が法的問題を主体的に考え、それを通じて学ぶ意欲やリーガルリテラシーを獲得することをめざしたものです。プロ野球選手のストライキは正當か、「ドフえもん」の権利を考える」といったテーマを設定し、身近な疑問から法的問題を考えたいきます。

高大連携プログラムを実施する大阪府立の高校は、千里高校、吹田高校、山田高校、吹田東高校、北千里高校、寝屋川高校、富田林高校、鳳高校の八校で、法学部の教員が高校に向いて授業を行います。

## 二〇〇六年四月、専門職大学院 経営管理研究科を新設

立命館大学では、二〇〇六年四月に専門職大学院「経営管理研究科」（入学定員一〇〇名）を新設します（二〇〇五年六月末文部科学省に設置認可申請）。企業経営コース（ビジネススクール）五五名と企業会計コース（アカウンティングスクール）四五名の二コースを導入、それぞれ経営修士（専門職）、会計修士（専門職）を取得することができます。

経営管理研究科では、「プラカデミック・アプローチ」（実務界と学問界の融合）によるビジネス実践力を持った人材の育成をめざし、アジアと世界を視野に入れた実践的カリキュラムを導入します。ビジネス界の第一線で活躍する実務家や専門家を多数招聘、総勢二〇名を超える充実した教員体制を構築します。

社会人が仕事をしながら学べるように、大阪淀屋橋の「立命館アカデミア@大阪」で平日夜間や土日に授業を行うとともに、週末（金土日）だけでも修了できるカリキュラムを用意します。また、当初はびわこ・くさつキャンパス（BKCC）で開設しますが、二〇〇六年九月には交通至便な「京都二条キャンパス（仮称）」に移転する予定です。

## 京セラ、京都パープルサンガ、立命館学園のコラボレーションによる、サッカーの「プロ・トッププレーヤー育成プロジェクト」「Scholar - Athlete Project」を発表

欧米では、スポーツのトッププロが現役引退後、別な分野でリーダーとして活躍する例が多くありますが、日本では極めて稀です。これは日本では受験勉強に励むか、スポーツでプロを目指すかの二者択一を迫られていることと無縁ではありません。また、若者の社会性や倫理観の欠如を憂慮する声も多く、アマチュアスポーツ界における不祥事などの残念な実態も依然として指摘されます。

スポーツと学業の両立を目指してこそ、人間としての可能性を広げつつ夢に向かってチャレンジする力を育むことが可能となり、前述の問題の克服にもつながります。「scholar-athlete」とは、このような認識を表現したものです。

本プロジェクトでは、産・地・学のコラボレーションによって京都の活性化をはかり、真のscholar-athlete育成を目指し新しい教育システムを構築します。来年度の新高校一年生より、京都パープルサンガのユース選手（U-18）を立命館宇治高等学校で受け入れ、文部科学省のスーパー・イングリッシュランゲージ・ハイスクールに指定された特色ある教育プログラム







によって、「高い倫理観を持った世界的なサッカーのプロ・トッププレーヤー」の育成を目指します。

## 立命館小学校 京都府私立学校審議会の書面審査通過

立命館学園では、二〇〇六年四月の開校に向け、立命館小学校の設置準備を進めています。二〇〇五年四月二十六日の京都府私立学校審議会における書面審査の結果、立命館小学校の設置計画について了解が得られました。最終的な設置認可は、校地・校舎及び設備等の整備が完了してから京都府知事が行うこととなります。

立命館小学校は、一学級三〇名、各学年四学級で初年度は新一年生・新二年生・新三年生の三学年で生徒を募集します。校舎は、京都市北区の地下鉄北大路駅の隣接地に建設中で、四月二十五日



(月)には学園関係者や地域住民の方々出席により、立命館小学校新築工事起工式が執り行われました。

五月二十九日(日)に衣笠キャンパスで開催された初の学校説明会には、約二千人もの参加者があり、立命館小学校への関心の高さをうかがわせました。立命館小学校では、命を輝かせる学校として一人一人を大切に、可能性を限りなく伸ばす教育実践をめざしています。

## 守山市立守山女子高校の移管と立命館守山高校の開校

二〇〇五年五月一七日、学校法人立命館と滋賀県守山市は、守山市立守山女子高校を学校法人立命館に移管し、二〇〇六年四月に立命館守山高校を開校するとの覚書を締結しました。

立命館守山高校では、びわこ・くさつキャンパス(BKC)をはじめとした大学・学部との教学上の連携を推進していきます。特にBKCは、理工学部・情報理工学部を有しており、理工系教育のための人員や施設設備が高いレベルで備わっています。こうした環境をいかし、理数教育と国際化教育を柱に、高い科学的素養やコミュニケーション能力、豊かな創造力と問題解決能力を備えた世界水準の人間形成をめざしていきます。守山市に根ざした素晴らしい学校づくりを通じて、地域貢献を果たします。また、素晴らしい学校に発展させていく前提として、現在の守山女子高校の在校生に最大限の配慮をした学校づくりを進めていきます。

## 立命館学園本部・法科大学院等新展開 JR二条駅前到新キャンパス

立命館学園は、学園本部機能の充実と法科大学院等の専門職大学院を中心とした新たな教育・研究拠点を形成するため、京都市の中心部であるJR二条駅前に新たな校地(八一一八m)を確保し、新キャンパスの建築・移転事業を進めています。



総合学園の拠点として学園全体のさらなる発展と大学の街・京都への地域貢献をめざすとともに、社会に開かれた、知の創造拠点として大学院教学のさらなる充実発展をはかります。

新築する校舎は、地下一階、地上七階建、延床面積二七、一四七m<sup>2</sup>で、二〇〇六年九月に竣工予定。歴史と文化の街京都の町並みにふさわしい、重厚でアカデミックな外観となります。

## インド洋大津波災害に対する立命館学園の取り組み

二〇〇四年十二月二十六日、インド洋沿岸国に降りかかった地震による大津波は、インドネシ

ア、スリランカ、インド、タイなどで死者・行方不明者あわせて二〇万人を超すという未曾有の大災害をもたらしました。幸いにも立命館学園では、今次災害の直接的な被害者はありませんが、被災国となった国々からの多くの学生・教員が立命館で学び、教育・研究をしています。

立命館学園では、二一世紀における教育機関の歴史的・社会的使命として、国際社会への積極的な貢献を果たすため、二〇〇五年一月、長田豊臣総長を本部長とする、「学校法人立命館インド洋大津波災害に対する対策本部」を設置しました。小学校再建の支援、人材育成支援への取り組み、国際シンポジウムの開催の三つを中心として、教育機関らしい取り組みを進めていきます。

## 立命館大学「大学行政研究・研修センター」を設立

大学を取り巻く厳しい競争環境の下で、国際的にも高い通用性をもつ大学づくりを進めるためには、教育・研究の高度化と同時に大学が経営体に生まれ変わることが求められています。このため、立命館大学では、大学経営を支えるプロフェッショナルな幹部職員(大学アドミニストレーター)を養成することを目的とした「大学行政研究・研修センター」(センター長・川本八郎理事長)を二〇〇五年四月一日に設立しました。

センターでは、大学行政・大学経営に関する多角的研究、大学幹部職員養成プログラムなどを実施するとともに、三年後をめどに大学アドミニストレーター養成大学院の設立をめざしています。

五月二日(土)に衣笠キャンパスにて開催された開設記念シンポジウム「二一世紀の大学職員像」には、全国の二二〇を超える国公私立大学・企業等から五五〇名の参加者が訪れ、センターへの期待の高さをうかがわれました。



衣笠



国際平和ミュージアムリニューアルオープン

四月九日、立命館大学国際平和ミュージアムのリニューアルが完了し、先行オープンしていた「平和創造展示室」、「国際平和展示室」、「メディア資料室」に続いて、「地階展示室」も一般公開を開始した。このたび展示内容を二〇〇三年のイラク戦争に



まで拡大。戦争中の生活に触れられるなど、小中学生にも分かりやすい「体験型」の見学が可能になった。安齋育郎館長は、「戦争の記憶を社会の記憶として残すための学習の場として活用して欲しい」と語っている。

リニューアル式典は四月二二日に、また五月二八日には、筑紫哲也氏によるリニューアル記念特別講演会「二世紀の平和創造」が開催され、約一千人の学生・市民が参加した。

文学部リレー講義「現代社会と宗教」開講

四月一日、宗教界を代表する講師によるリレー講義「現代社会と宗教」が開講した。この講義は、今日の社会情勢を分析する際に重要な視点となる宗教の存在意義・役割について、第一線の宗教者たちが直接学生に語りかけるもので、学部・回生を問わず全ての学生が受講できる特殊講義である。

初回の講義は、大谷光真・浄土真宗本願寺派西本願寺門主により行われた。宗教、命の問題から、紛争・戦争・生命倫理といった時事問題にまで話題は広がり、一千名を超える学生が熱心に聞き入った。

立命館大学「白川静記念東洋文字文化研究所」開所

五月二四日、「白川静記念東洋文字文化研究所」の開所式が挙行された。この研究所は、文化勲章を受章された白川静名誉教授の研究成果を元に、広く社会一般に対して東洋文字文化の教育と普及を行うとともに、東洋文字文化研究の振興と高度化をはかることを目的として設立されたものである。名誉研究所長に就任した白川名誉教授は、「研究所での実践

的活動を通じて、漢字文化によって培われた東アジアの平和な連帯を取り戻したい」と挨拶した。

この研究所では講演会実施や研究成果の出版、外国語（とりわけアジア諸国の言語）への翻訳事業の支援などを行うほか、この分野における有為な人材を奨励するため、「白川文字学賞」を創設する。

第二回伝統芸能フェスティバル開催

四月二五・二六の両日、以学館前 特設ステージにて伝統芸能フェステ

イバルが開催された。このフェスティバルは、伝統芸能継承の一端を学生が担おうと始まったもので、春の恒例行事となっている。

今年度は、邦楽部、落語研究会、雅楽会、能楽部、囲碁研究部、将棋研究会、茶道研究部が参加した。トリを務めた能楽部の永禮里絵子部長（経済3）は、「一二月頃から準備し

ていた。伝統芸能の美しさを伝えるため、ぜひ来年もやりたい」と感想を述べた。



APUおび附属校  
APU学生が国際ビジネスケースコンペティションに参加

世界一三カ国、一六大学から学生が集い、四月四日から一六日にかけて開催された「ワシントン大学グローバルビジネスチャレンジ2005」に、APUから一チーム（国際学生を含む四名）が参加した。

メインイベントであるプレゼンテーション大会のテーマは「ファイナンス」。与えられた複合的なビジネス

ケースについて、コンサルティング会社の立場に立って最適な投資先を考え、四八時間で分析、発表するというものであった。この他にも、マイクロソフト社やボーイング社といったワシントン州に本社を置く世界的企業への訪問や、企業トップとの懇談なども行われた。

立命館宇治中学校・高等学校  
Rits Kids 第二回入学式を行う

立命館宇治中学校・高等学校では、英語教育を通じて地域の児童が学び成長する機会を広く提供しようと、小学校三年生から六年生までを対象に、英語だけで過ごす土曜日の学校「Rits Kids」を行っている。

四月九日、このプログラムの入学式が和やかに行われた。今年度の参加児童数は、学年やレベルにより一

〇クラスに分かれた計一五三人。ネイティブ教員とのコミュニケーション、音楽、アート、スポーツなどを通して、英語に慣れ親しむことを目標としている。





B  
K  
C



## 学生交流施設「セントラルアーク」竣工式典・記念行事開催

三月三日、BKCの学生交流施設「セントラルアーク」の竣工式典が行われた。川本八郎理事長より「クラブ・サークルなどの活動をさらに高めるため、自由で創造的な活動を、このセントラルアークで行ってほしい」と期待が語られたのを受けて、BKC自治会事務局長の藤原康平さん（経営3）が「ここに集まり刺激を与え合う中で成長したい」と喜びと感謝の意を述べた。



学生交流施設「セントラルアーク」の竣工式典。川本八郎理事長（左）と藤原康平さん（右）が挨拶している。

## 滋賀医科大学と立命館大学との協力協定を締結



滋賀医科大学と立命館大学との協力協定締結記者発表。左から滋賀医科大学学長、立命館大学学長、両校の代表者が握手している。

四月八日には、開館記念行事として、「日本におけるドイツ年2005-2006」文化行事企画、ジャズ演奏会が開かれた。ドイツ年行事のため来日したヘッセン州立ユース・ジャズ・オーケストラと、立命館大学ジャズクラブとが共演し、両国の若者の交流が図られた。

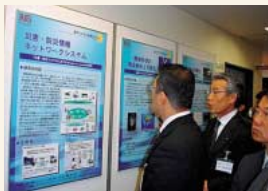
携・地域貢献などのあらゆる分野において両大学間の連携を強め、その成果を社会に発信するため、このほど包括的な協力協定を結び、三月二三日に締結式が行われた。  
なお、京都府立医科大学とも、三月二八日に協力協定・学術交流協定を締結した。今後、共同研究等を進めていくこととしている。

## 防災システムリサーチセンター開設記念式典を挙行

本学では、文部科学省二一世紀COEプログラムに選定された「文化遺産を核とした歴史都市の防災研究」に取り組んでいるが、このほど「防災システムリサーチセンター」が竣工し、研究組織「防災システム研究センター」が設置された。ここで「防災」と「情報」の分野を融合した研究を進めていく。

四月二〇日（水）、同センターの内覧会ならびに開設記念式典が行われ

た。長田豊臣総長が「文理融合型の特色を有する、世界水準の防災研究拠点形成を成し遂げたい」と抱負を語り、副センター長の深川良一教授からは「防災システム研究センターのプロジェクト概要が説明された。」



防災システムリサーチセンターの開設記念式典。長田豊臣総長（左）と深川良一教授（右）が挨拶している。

## 日本物理学会ジュニアセッション 立命館高等学校 三滝雅俊さんに大賞

三月二六日、東京理科大学野田キャンパスにおいて、世界物理年記念イベント「日本物理学会ジュニアセッション」が開催され、立命館高等学校三年生の三滝雅俊さんが大賞を受賞した。

多数の応募レポートの中から選ばれた九件が、学会での本選に臨んだ。三滝さんは、「水によってタイル間に生じる力、光触媒を使うとくっつく力は強くなる」というテーマで発表、高い評価を得た。

## 「金融と法」東京講座開講



四月二日、昭和女子大学オープンカレッジ棟にて、二〇〇五年度「金融と法」東京講座の開講式および初回講義が行われた。講義は毎週土曜日に一年間にわたって続けられる。

部の大垣尚司教授のコーディネートによる社会人対象の公開講座で、社会における金融と法のかかわりを理解するのに必要な生きた知識の伝達を目的としている。最先端の金融技術を多角的に検討し、実際の取引や戦略立案に結び付けていくための視座を、金融工学、証券化格付け、企業会計、保険数理、ART（代替的リスク移転）、国際税務の分野の実務家が提供する。

## 各オフィスほか



## 新入生歓迎祭典を開催

四月三日、BKCにて、学生の実行委員会による恒例の新入生歓迎祭典が開催された。衣笠キャンパスとBKCの新入生が一同に会し、新入生クラスやゼミ、サークルが協力して出店する模擬店や、ステージでの各種パフォーマンス

スなどを楽しんだ。来場者は学生・地域の方々など約三万名を数え、春の夜空を彩る花火で幕を閉じるまで、キャンパスは大いに賑わった。



新入生歓迎祭典の様子。多くの学生と来場者が参加している。



# EVENTS

## 男子陸上競技部

第21回静岡国際陸上競技大会  
(5月3日 草薙総合運動陸上競技場)  
田子康宏(経営4) 1500m 2位

第82回関西学生対校選手権大会  
(4月28日~5月22日 長居陸上競技場)  
田子康宏(経営4) 1500m 優勝  
内記正裕(経済3) 400m 優勝  
森田知行(経営3) 5000m 優勝

## バドミントン部女子

関西バドミントン春季リーグ戦  
(5月22日 龍谷大学体育館)  
優勝(2季連続9回目)



## 馬術部

第40回全関西学生馬術大会  
(5月3日 三木ホースランドパーク)  
外村圭一朗(経済3)  
L級B障害飛越競技 優勝

第37回関西学生女子自馬大会  
(5月3日 三木ホースランドパーク)  
神農由紀子(法2)  
第2課目馬場馬術競技 優勝

## レスリング部

西日本学生レスリング春季リーグ戦  
(5月14日~15日 大阪府立体育館)  
優勝(8季連続10回目)

## 射撃部室内射撃場 竣工式挙行

3月30日、柘野総合グラウンドにおいて、  
立命館大学射撃部室内練習場の竣工式が行わ

れました。川本八郎理事長をはじめ多くのOB・OG、関係者が出席し、射撃部の新たな拠点がスタートを切りました。室内射撃場は、スモールボアで50m×4射座、エアライフルで10m×10射座を有する関西の大学施設としては最大級のもです。室内射撃練習場を十分活用することによって年間を通じて合理的・科学的なトレーニングを行い、ますます高い目標を掲げて活躍することが期待されています。



## カヌー一部艇庫・合宿所開き

4月9日、大津市蛸谷に完成した立命館大学カヌー一部艇庫・合宿所開きが、大学関係者、カヌー一部OB会代表、現役学生など多くの参加者に見守られながら行われました。2003年度全学協議会で旧ボート部の艇庫・合宿所を全面的に改修する形での設置が確認されたのを受けて改築していたものです。幸田真理主将(産社4)は、艇庫・合宿所建設への感謝とともに、「新しい施設条件を生かして、これまでの部の伝統の上に、さらに活動を発展させたい」と今後の抱負を語りました。

## CULTURE・ART

問い合わせ先：学生センター  
075-465-8141

## 将棋研究会

平成17年度春季関西学生個人戦  
(5月22日 大阪市立大学)  
稲葉 聡(経営2) 優勝

平成17年度春季関西学生女流戦  
石内奈々絵(国関4) 優勝  
石井志奈(国関2) 準優勝  
赤井芽久美(政策2) 3位

学生名人戦出場代表  
稲葉 聡(経営2)

## JAZZ CLUB

「日本におけるドイツ年2005-2006」文化行事企画  
ジャズ演奏会「BIG BAND JAZZ CONCERT~LJJO meets SJS~」出演  
(4月8日 びわこ・くさつキャンパス)



## 第37回草津宿場まつりに参加

(4月28日~29日 草津市内)

「草津宿場まつり」は、かつて東海道五十三次の52番目の宿として栄えた草津の賑わいを再現した祭りで、その実行委員会には、BKC学生センター・BKC自治会も加わっています。

4月28日の前夜祭「能と狂言の夕べ」では、能楽部が仕舞を演じました。そして当日祭29日のメインイベント「草津時代行列」には、イベント事業部のメンバーが参加し、時代装束を身にまとい東海道・中山道筋を巡行しました。また、「本陣お茶会」で茶道研究部がお点前を披露し、「町衆熱演舞台」ではRBC(放送局)が進行を務めたほか、将棋研究会・囲碁研究会・落語研究会・けん玉研究会・奇術研究会マジックプレイヤーズ・美術研究部が各々の特色を活かして参加、地域の方々との交流を楽しみました。







# S P O R T S &

## SPORTS

問い合わせ先：スポーツ強化センター  
075-465-7863

### アメリカンフットボール部

長浜ひょうたんボウル  
(4月29日 長浜ドーム)  
48 - 7 早稲田大学

ヨコハマボウル  
(6月5日 横浜スタジアム)  
14 - 33 アサヒビール

### 硬式野球部

関西学生野球六大学春季リーグ戦 立同戦  
(5月23、24日 西京極球場)  
5/23 3 - 6 同志社大学  
5/24 2 - 3 同志社大学  
関西学生野球六大学春季リーグ戦 4位



### ゴルフ部

関西学生連盟杯  
(4月21日~22日 柳生カントリークラブ)  
香山麻央(法4) 優勝

### サッカー部

第15回関西学生春季リーグ戦  
(4月2日~5月14日 太陽が丘陸上競技場ほか)  
最終 4位

### 自転車競技部

第7回全日本学生選手権クリテリウム大会

(4月29日 びわこ・くさつキャンパス)  
坂本裕季(法3) 3位  
石井 陽(法1) 4位



### 重量挙げ部

2005年世界ジュニア選手権大会  
(5月9日~25日 韓国・プサン)  
角田祥子(法2) 女子48kg級 優勝

第19回全日本女子ウェイトリフティング選手権  
(5月3日~5日 さいたま市記念総合体育館)  
齊藤里香(産社4) 女子69kg級 優勝  
ジャーク116kg 日本新記録  
スナッチ 86kg  
トータル202kg 日本新記録  
長崎華奈(産社3) 女子63kg級 3位  
平嶺 綾(産社3) 女子69kg級 3位



第51回全日本学生重量挙げ個人選手権  
(6月5日 羽曳野コロセアム)  
山神志乃(法4) 女子53kg級 優勝  
長崎華奈(産社3) 女子58kg級 優勝  
平嶺 綾(産社3) 女子69kg級 優勝

第51回全日本学生個人ウェイトリフティング選手権  
(6月4日 羽曳野コロセアム)  
加山健太(産社4) 男子85kg級 優勝

### 女子バスケットボール部

第22回 日本女子学生選抜バスケットボール大会

(4月22日~24日 代々木第二体育館)  
団体 4位

### 水泳部

パラリンピックワールドカップ2005  
(5月11日~17日 イギリス・マンチェスター)  
江島大佑(産社2)  
男子50mバタフライ(34.80) 2位 銀メダル

### 相撲部

第45回 全国大学選抜相撲 宇佐大会  
(5月3日 宇佐相撲場)  
団体 ベスト8

第79回 西日本学生相撲選手権大会  
(6月5日 堺市大浜公園相撲場)  
団体 準優勝

### 卓球部

関西学生新人戦  
(4月22日~24日 松下電器体育館)  
男子団体 優勝  
女子団体 優勝  
花田麻里(産社1)・石井英理香(政策1)  
女子ダブルス 優勝

関西学生卓球選手権大会  
稲垣 理(政策3)・河邊善則(政策3)  
男子ダブルス 優勝  
花田麻里(産社1) 女子シングルス 優勝  
藤田いずみ(産社4) 女子シングルス準優勝

### 男子ソフトボール部

第37回 春季関西学生ソフトボールリーグ1部リーグ  
(4月17日~5月4日 万博記念公園球場)  
優勝 勝ち点13(2季ぶり8度目)

\*いま、中部地方、特に、愛知県が燃えている。新時代のハブ空港を目指す「セントレア」。そして今世紀最初の万国博覧会「愛・地球博」の開催で、もの作りを誇る技術都市圏が活気づいている。そのような都市の中核で40年近く頑張り、名古屋の底力をじっくり育て上げた校友会、名古屋観光コンベンションビューローの理事長室に訪ねた。象徴的に金のシャチホコが飾られた部屋で、明るく朗かに迎えて頂いた。名古屋弁と島根の郷土言葉を織り交ぜて語られる一言一言に、1960年代の京都・立命館で学んだ実直さ・粘り強さとその喜怒哀楽がほとばしり出る。歴史都市としての名古屋の発展にも心血を注いでいる姿をみた。(Kaz)

\*3月下旬に卒業生用の記念品である母校の「2005 memorial CD-ROM」を頂く機会を得ました。その中に思い出に残る画像が入っているとのことで、パソコンにて鑑賞させていただきましたが、校歌及び応援歌も収録されておりました。それらをカーステレオで拝聴しましたところ、心の何処かにしまっていた立命人としての熱い思いが甦り、仕事で移動中に恥ずかしながら時々カーステレオに合わせて口ずさみ、すさみがちなこの時代、元気を貰っております。皆様もこの様に校歌と応援歌から元気を貰われては如何ですか。お奨め致します。(仲治實)

\*金曜日、夜9時を過ぎたアカデミア@大阪。経営学研究科プロフェッショナルコースの授業にお邪魔した。忙しい仕事の合間を縫って学ぶ皆さんの、昼間の疲れなど微塵も感じさせない、というよりも、この教室でリフレッシュし、エネルギーの再生産をしているかのような勢いと明るさに圧倒された。授業が終われば、仲間同士で遅い夕食に(飲み)出かけ、議論の続きに花を咲かせるそうだ。40代、体力は下り坂にさしかかる頃であるが、心で身体を引っ張っていきけるのが人間。再びの学びに目覚めた精神が発揮する底力は、何とも素晴らしい。(寺)

### 第4回立命館学園債のご案内

募集総額：10億円  
発行日：2005年10月1日  
1口500万円(口数自由) 5年据置  
利率：利付国債(5年)に準じる予定  
申込受付：2005年8月1日～9月30日(予定)  
\*詳細は7月末に決定し、ホームページ等でお知らせします  
【お問い合わせ先】立命館大学 財務部 財務企画課  
Tel. 075(465)8130

### りつめい No.221 / 年4回発行

発行所 / 立命館大学校友会  
発行人 / 山中 諄  
編集人 / 尾崎 敬則  
〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1  
Tel. 075(465)8120・8124  
Fax. 075(465)8125  
URL : http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/  
E-mail : alumni@st.ritsumei.ac.jp

### 校友会・グループ インフォメーション

(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
広島県校友会北部地区支部総会	7/ 3(日)17:00	ひろしま国際ホテル	松島哲也 082(814)8839
大阪校友会年次大会	7/ 8(金)18:30	スイスホテル南海大阪	大阪オフィス 06(6201)3610
岩手県校友会総会	7/ 9(土)14:00	ホテルエース盛岡	大橋謙一 019(623)6575
福島県校友会総会	7/ 9(土)15:00	スパリゾート・ハワイアンズ	三村智春 0246(24)1386
群馬県校友会総会	7/10(日)14:00	ホテルメトロポリタン高崎	石橋 博 027(372)8422
秋田県校友会総会	7/10(日)15:00	ホテルメトロポリタン秋田	兜森勲夫 018(834)6871
岐阜県校友会総会	7/16(土)17:00	ホテルグランヴェール岐阜	折戸優児 (職)058(251)2240
岡山県津山支部美作の会設立総会	7/16(土)16:00	津山鶴山ホテル	三好和広 090(3749)0418
政策科学部同窓会	7/16(土)13:00	ヒルナン東京ベイ	政策科学部事務局 075(465)7877
広島県校友会西部地区支部総会	7/23(土)17:00	割烹「永渡屋」	平岡 滋 0829(32)8383
徳島県校友会総会	7/24(日)16:00	阿波観光ホテル	坂東照伸 0883(36)4009
長崎県校友会総会	7/30(土)18:00	長崎グランドホテル	山口孝司 (職)095(825)3795
憲法研究会OB会総会	8/13(土)18:00	ゆうりぞうと京都洛翠	有働光昭 (職)075(222)2233
広島県校友会総会	9/ 3(土)17:00	広島全日空ホテル	市村 章 082(294)8446
立命館中高100周年記念式典	ALL立命館中高交流広場 9/10(土) 11:00 14:00	京都国際会議場	立命館中・高 075(645)1051
立命館清和会総会・懇親会	9/17(土)15:00	ウェスティン都ホテル京都	立命館中・高 075(645)1051
軽音楽部OB会	9/18(日)13:00	三井アーバンホテル	福井正秋 075(861)0815
兵庫県校友会総会	9/23(金)12:00	ホテルサンガーデン姫路	園田暎:寺田・岸本 06(6429)1201
埼玉県校友会総会	9/25(日)13:00	ラフレさいたま	西垣義明 048(963)2108
Ritsちば校友のつどい	10/ 1(土)15:00	船橋グランドホテル	髙田元泰 047(395)7604
北摂会総会	10/ 7(金)18:30	ホテルアイボリー	湯川正之 (職)06(6844)2001
数物会総会	10/23(日)10:30	京都タワーホテル	三村泰一郎 075(462)2852
慶祥中高同窓会創立70周年記念祝賀会	10/29(土)16:00	札幌パークホテル	立命館慶祥中・高 011(381)8888
All-Rits立命館校友会大会2005	11/ 5(土)17:00	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075(465)8120
衣笠寮友会	11/23(水)14:00	京都タワーホテル	荒木 徹 0774(46)0519
東京校友会総会	12/ 3(土)15:00	虎ノ門バストラル	東京オフィス 03(5204)8611
鹿児島県校友会総会	12/ 3(土)15:30	鹿児島サンロイヤルホテル	日笠山繁樹(職)099(285)2533

### 校友消息(判明分)

#### 叙勲 2005年春分

旭日中綬章  
青木善男氏('49経済)  
京都市議

#### 旭日小綬章

倉橋博文氏('56理工)  
元但馬銀行頭取

#### 瑞宝小綬章

戸田勝堅氏('52法)  
元公立高校長  
秦 芳江氏('55文)  
同志社女子大名誉教授  
青地宗一郎氏('58法)  
元滋賀県企業庁長  
是川 長氏('58文)  
元公立高校長  
関 稔氏('58法)  
元税務署長

#### 旭日双光章

西村重夫氏('51専法経)  
滋賀県食品衛生協会会長  
井上清次氏('54理工)  
元京都府化粧品商業協  
同組合理事長

#### 瑞宝双光章

今西三良氏('48専法経)  
元奈良県国体事務局長  
青木 修氏('49専法経)  
元京都地検事務局長  
畑喜代治氏('51経済)  
元公立中学校長

#### 山岡政一郎氏('51経済)

行政相談委員  
佐野節雄氏('56法)  
元京都府労働部理事  
吉良禎人氏('57経済)  
調停委員

#### 危険業務従事者叙勲

#### 2005年春分

瑞宝双光章  
松田正雄氏('53法)  
警察功労

#### 瑞宝単光章

立野泰三氏('48専法経)  
警察功労  
植村 功氏('50専工学)  
消防功労  
園田英夫氏('50専法経)  
警察功労  
金川諒助氏('51法)  
警察功労  
橋本秀臣氏('56法)  
矯正業務功労  
志水周三氏('61経済)  
消防功労

#### 褒章 2005年春分

黄綬褒章  
石川秀樹氏('65理工)  
富士穀粉代表取締役  
渡辺三彦氏('68理工)  
弁理士

#### 就任

道端 進氏('53経済)  
京都市観光協会 会長  
香村隆司氏('64経済)  
岡崎信用金庫 理事長  
安道光二氏('67経済)  
日清医療食品(株)  
代表取締役社長  
内田安次氏('69文)  
近畿日本ツーリスト(株)  
取締役  
古谷泰久氏('69経営)  
石川建材工業(株)  
常務取締役

#### 中田 寛氏('70経済)

アキレス(株)  
代表取締役社長  
岩花 博氏('71理工)  
愛三工業(株)  
常務取締役  
白石貞雄氏('71理工)  
住友電設(株)  
常務執行役員  
矢田正美氏('72理工)  
(株)北川鉄工所 取締役  
荒川泰宏氏('77産社)  
タイホー工業(株)  
代表取締役社長

#### 井筒雅博氏('82経済)

(株)エルゴ・ブレインズ  
代表取締役CEO

#### 訃報

永井外代士氏  
(本学名誉教授)  
3月9日逝去。79歳。  
角谷登志雄氏  
(本学名誉教授)  
5月21日逝去。79歳。  
天野隆夫氏('57経済)  
(北九州校友会幹事長)  
3月24日逝去。70歳。

## BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。



道上隆三氏('61文)著  
『歌集 メメント・モリ』  
本阿弥書店 \* 2500円  
一色 尚氏('65法)著  
『学校らしさの回復 - 壊れ  
ない若者をつくる -』  
日本教育総合研究所 \* 1800円  
辻井栄滋氏('67文)著  
『二十世紀最大のロングセラー作  
家 - ジャック・ロンドンって何者?』  
丹 精社 \* 1600円  
菅下清廣氏('69経済)著  
『若い株でお金持ちになる』

幻冬舎 \* 1300円  
長谷川清氏('74法)編  
『新不動産登記実務必携』  
民事法研究会 \* 2800円  
大淵幸治氏('78文)著  
『京都文化ジン類学』  
かもがわ出版 \* 1600円  
清水美保子氏('82産社)  
『沈黙は金 雄弁は銀  
- 父への追憶 -』  
碧 天舎 \* 1000円

価格は本体価格です。